

# 松伏町総合戦略策定に係る町民意識調査

## 中間報告書

平成27年8月

松伏町

## ■ 調査の概要

---

### (1) 調査の目的

人口減少やそれに伴う地域経済の縮小による問題の克服に向けた「地方版総合戦略」の策定にあたり、これまで町が行ってきた施策に対する満足度や住民のニーズを把握する。

### (2) 調査の概要

前述の目的のため、以下の通りアンケート調査を行った。

#### アンケート結果の概要

調査地域	松伏町全域
調査対象	松伏町の町民 30,457 人の中から、15 歳以上の男女個人
調査方法	郵送配布、郵送回収
対象者数	1,500 人
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
有効回収数	610 人 ※中間報告書では 571 人分を集計。
有効回収率	40.7%
実施期間	平成 27 年 6 月

### (3) 調査の留意点

- ・回答の割合は、小数点第 2 位を四捨五入しているため数値の合計が 100%にならない場合がある。
- ・また、複数回答可の設問の場合、すべての回答割合を合計すると 100%を超える場合がある。
- ・本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化している。
- ・「子育て世代」とは 30 代～40 代を対象とする。
- ・集計に用いたものは 7 月 29 日までに届いた 571 票である。

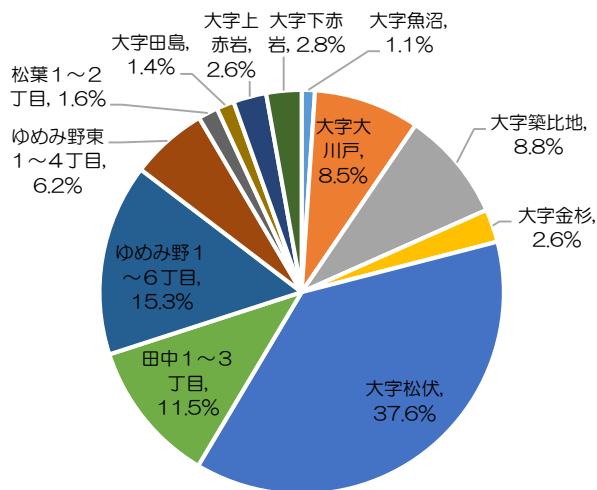
## ■ 調査結果

### ○回答者自身について

問1 あなたの現在のお住まいはどちらですか。 (1つだけに○)

項目	回答数	構成比
大字魚沼	6	1.1%
大字大川戸	48	8.5%
大字築比地	50	8.8%
大字金杉	15	2.6%
大字松伏	213	37.6%
田中1～3丁目	65	11.5%
ゆめみ野1～6丁目	87	15.3%
ゆめみ野東1～4丁目	35	6.2%
松葉1～2丁目	9	1.6%
大字田島	8	1.4%
大字上赤岩	15	2.6%
大字下赤岩	16	2.8%
合計	567	100.0%

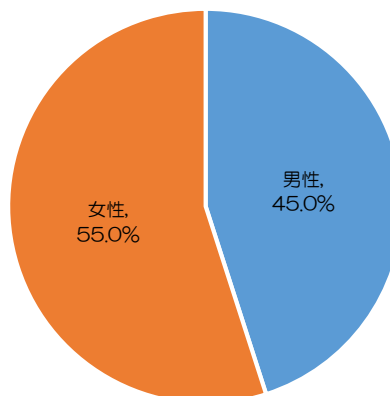
未回答 4 件を除く



問2 あなたの性別をおうかがいします。 (1つだけに○)

項目	回答数	構成比
男性	250	45.0%
女性	305	55.0%
合計	555	100.0%

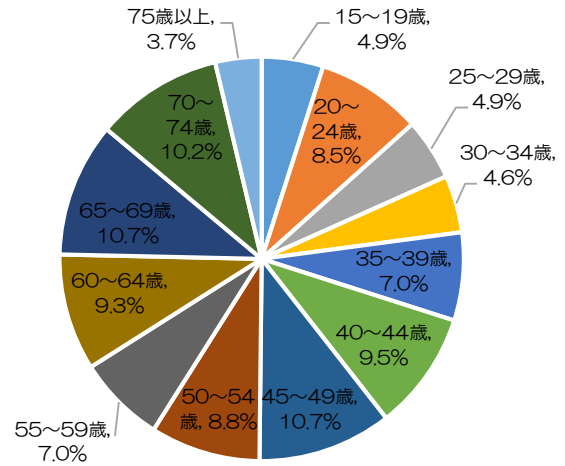
未回答 16 件を除く



問3 あなたの年齢をおうかがいします。

(1つだけに〇)

項目	回答数	構成比
15～19歳	28	4.9%
20～24歳	48	8.5%
25～29歳	28	4.9%
30～34歳	26	4.6%
35～39歳	40	7.0%
40～44歳	54	9.5%
45～49歳	61	10.7%
50～54歳	50	8.8%
55～59歳	40	7.0%
60～64歳	53	9.3%
65～69歳	61	10.7%
70～74歳	58	10.2%
75歳以上	21	3.7%
合計	568	100.0%

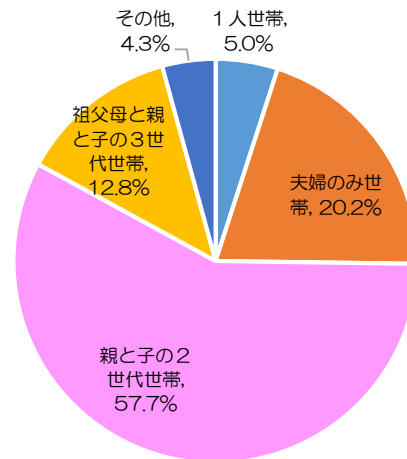


未回答3件を除く

問4 あなたのご家族構成をおうかがいします。

(1つだけに〇)

項目	回答数	構成比
1人世帯	28	5.0%
夫婦のみ世帯	114	20.2%
親と子の2世代世帯	325	57.7%
祖父母と親と子の3世代世帯	72	12.8%
その他	24	4.3%
合計	563	100.0%



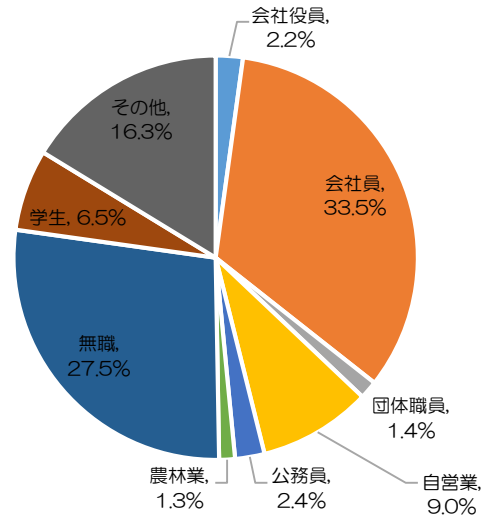
未回答8件を除く

問5 あなたのご職業及び就業形態をおうかがいします。 (それぞれ1つだけに○)

<職業>

項目	回答数	構成比
会社役員	12	2.2%
会社員	185	33.5%
団体職員	8	1.4%
自営業	50	9.0%
公務員	13	2.4%
農林業	7	1.3%
無職	152	27.5%
学生	36	6.5%
その他	90	16.3%
合計	553	100.0%

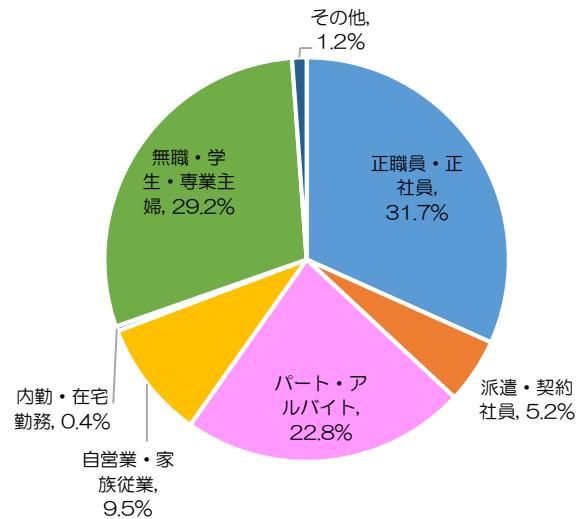
未回答 18 件を除く



<就業形態>

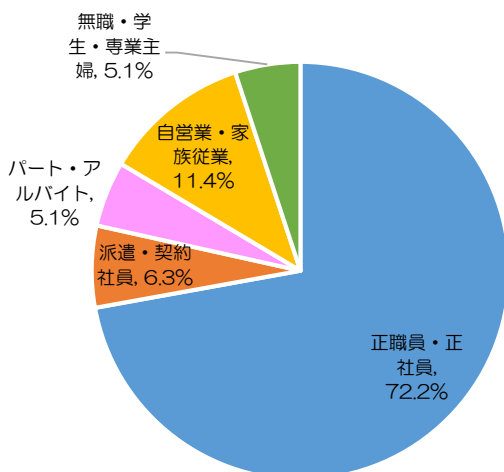
項目	回答数	構成比
正職員・正社員	164	31.7%
派遣・契約社員	27	5.2%
パート・アルバイト	118	22.8%
自営業・家族従業	49	9.5%
内勤・在宅勤務	2	0.4%
無職・学生・専業主婦	151	29.2%
その他	6	1.2%
合計	517	100.0%

未回答 54 件を除く

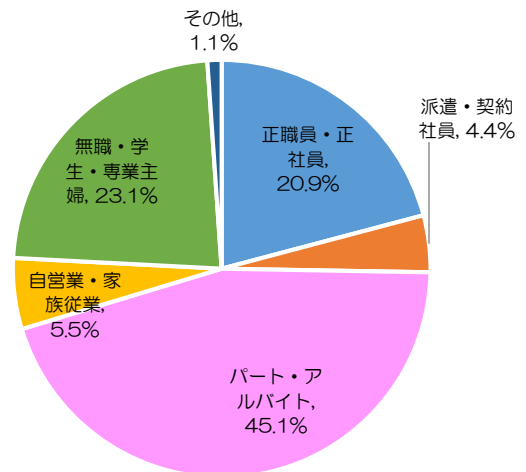


【クロス集計】 問5 就業形態 × 問2 性別 (子育て世代)

【子育て世代 男性(n=79)】



【子育て世代 女性(n=91)】



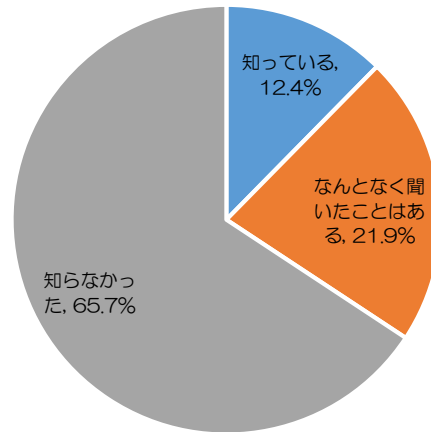
## ○人口減少について

問 6 松伏町の人口は 2009 年の 31,229 人から緩やかに減少を続けており、国立社会保障・人口問題研究所の推計結果によると、2040 年には 26,152 人に減少するとされています。あなたはこの推計結果を知っていましたか。 (1 つだけに○)

松伏町の人口減少の認知度について、「知らなかった」と回答した人が 65.7%と最も多く、半数を超えおり、次いで「なんとなく聞いたことはある」と回答した人が 21.9%となっている。

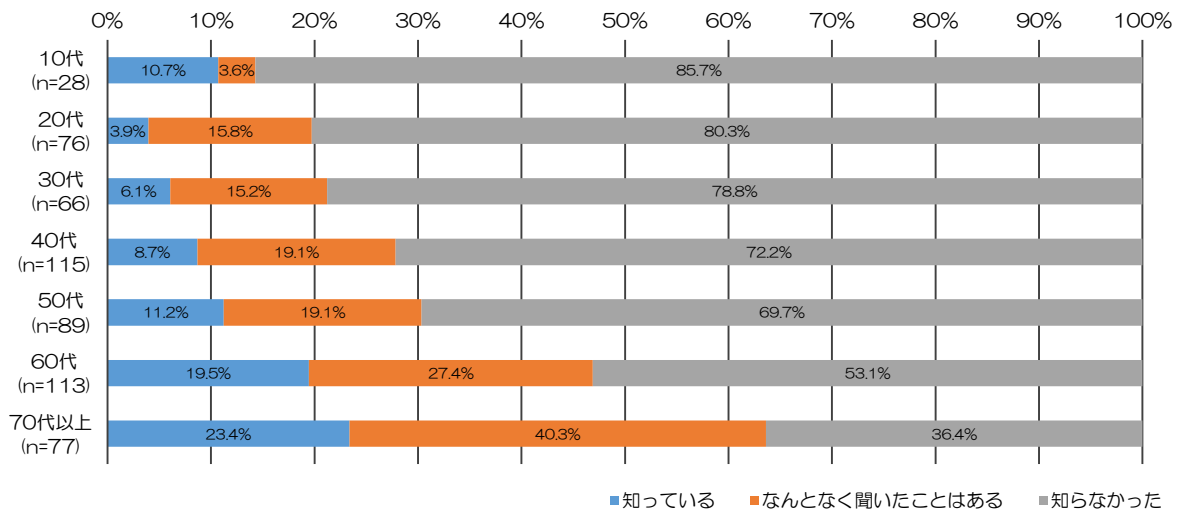
項目	回答数	構成比
知っている	70	12.4%
なんとなく聞いたことはある	124	21.9%
知らなかった	372	65.7%
合計	566	100.0%

未回答 5 件を除く



### 【クロス集計】 問 6 人口減少の認知度 × 問 3 年代

年代別に見ると、年代が若いほど「知らなかった」と回答している人が多くなっており、70 代以上を除く全ての年代でその割合が半数を超えている。若い年代の人口減少に対する認知度は低い。

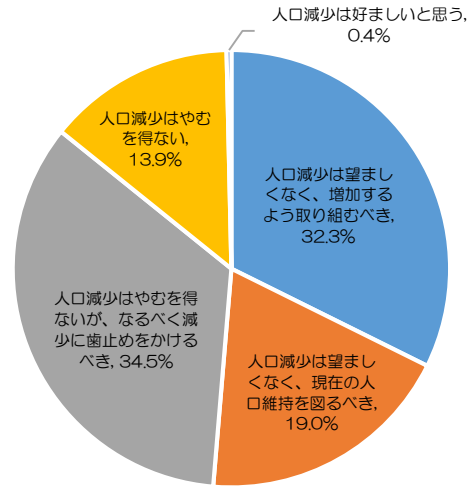


**問7 松伏町の人口が減少することについて、あなたの考えに最も近いものをお選びください。(1つだけに○)**

人口減少に対する考えについて、「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」と回答している人が34.5%と最も多くなっており、次いで「人口減少は望ましくなく、増加するよう取り組むべき」と回答している人が32.3%となっている。

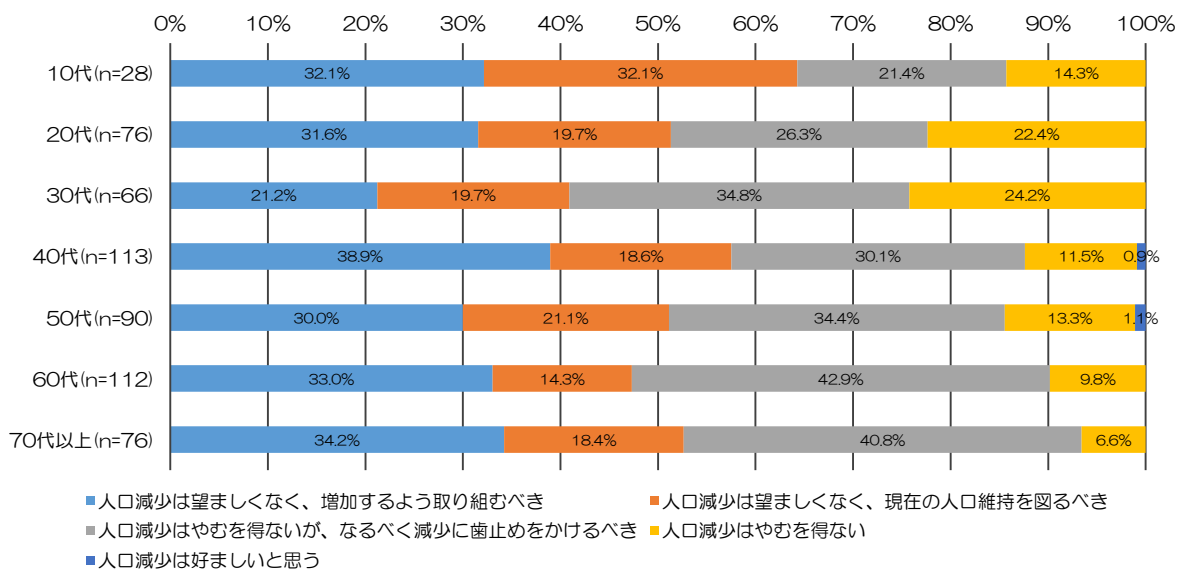
項目	回答数	構成比
人口減少は望ましくなく、増加するよう取り組むべき	182	32.3%
人口減少は望ましくなく、現在の人口維持を図るべき	107	19.0%
人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき	194	34.5%
人口減少はやむを得ない	78	13.9%
人口減少は好ましいと思う	2	0.4%
合計	563	100.0%

未回答8件を除く



**【クロス集計】 問7 人口減少に対する考え × 問3 年代**

年代別に見ると、どの年代も「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」あるいは「人口減少は望ましくなく、増加するよう取り組むべき」と回答している人が多くなっている。また、40代、50代で1人ずつ「人口減少は好ましいと思う」と回答している。



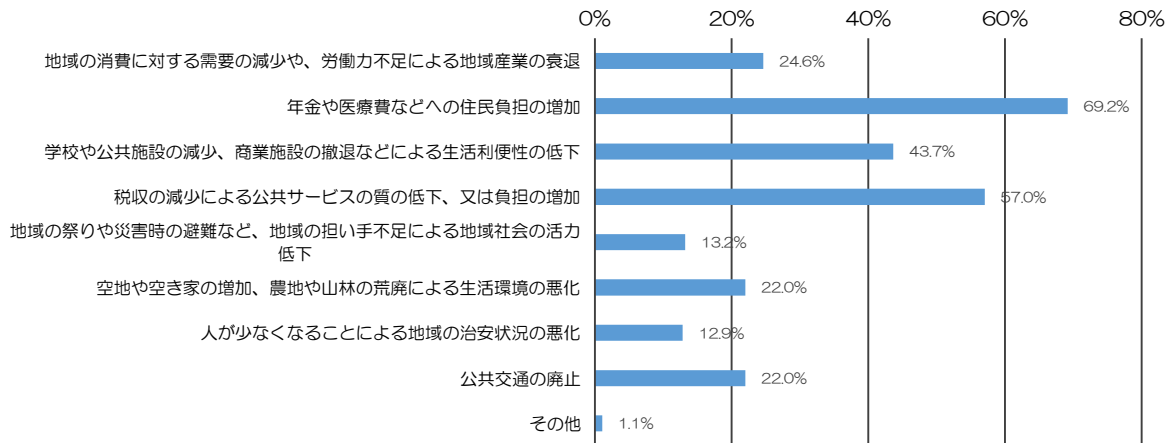
問 8

今後、松伏町の人口がさらに減少することにより、あなたはどのような影響を心配あるいは不安に感じますか。  
(3つまでに○)

人口減少によって不安に思うことについて、「年金や医療費などへの住民負担の増加」と回答している人が69.2%と最も多く、次いで「税金の減少による公共サービスの質の低下、又は負担の増加」と回答している人が57.0%となっている。

項目	回答数	回答率
地域の消費に対する需要の減少や、労働力不足による地域産業の衰退	140	24.6%
年金や医療費などへの住民負担の増加	393	69.2%
学校や公共施設の減少、商業施設の撤退などによる生活利便性の低下	248	43.7%
税金の減少による公共サービスの質の低下、又は負担の増加	324	57.0%
地域の祭りや災害時の避難など、地域の担い手不足による地域社会の活力低下	75	13.2%
空地や空き家の増加、農地や山林の荒廃による生活環境の悪化	125	22.0%
人が少なくなることによる地域の治安状況の悪化	73	12.9%
公共交通の廃止	125	22.0%
その他	6	1.1%
回答者数	568	—

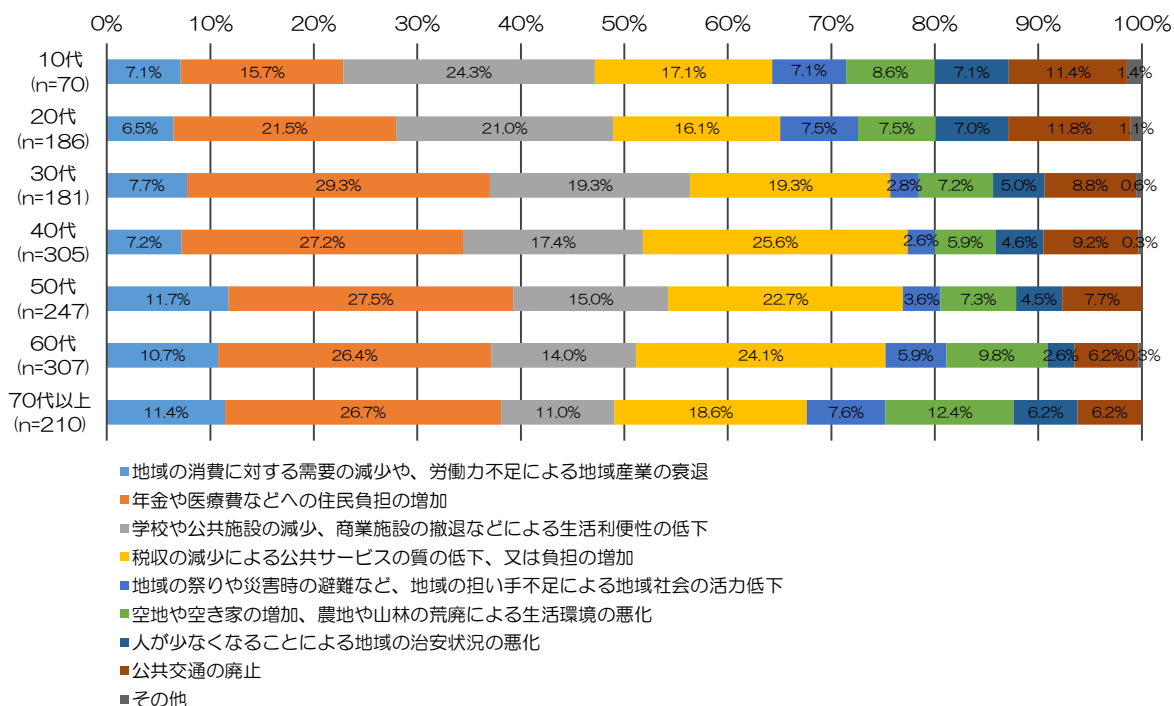
未回答3件を除く



【クロス集計】 問8 人口減少によって不安に思う事 × 問3 年代

年代別に見ると、30代以上の年代では「年金や医療費などへの住民負担の増加」と回答している人が最も多く、次いで「税金の減少による公共サービスの質の低下、又は負担の増加」と回答している人が多い。一方、年代が若いほど「学校や公共施設の減少、商業施設の撤退などによる生活利便性の低下」と回答している人が多い。





【その他記述】

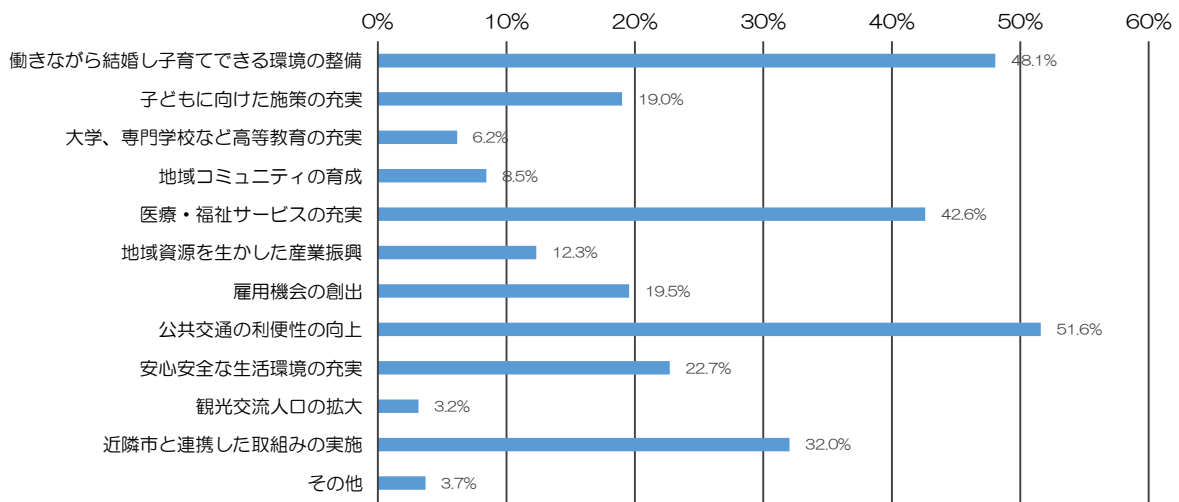
近隣地域との合併
今いる企業が撤退し雇用が失われる
合併 [同回答他 1 件]
不安はない
もっと魅力の無い町になってしまう。

問9 人口減少を抑えるために、松伏町ではどのような対策をとることが大事だと思いますか。(3つまでに〇)

松伏町で大事だと思われる人口減少対策は、「公共交通の利便性の向上」と回答している人が51.6%と最も多く、次いで「働きながら結婚し子育てできる環境の整備」と回答している人が48.1%となっている。

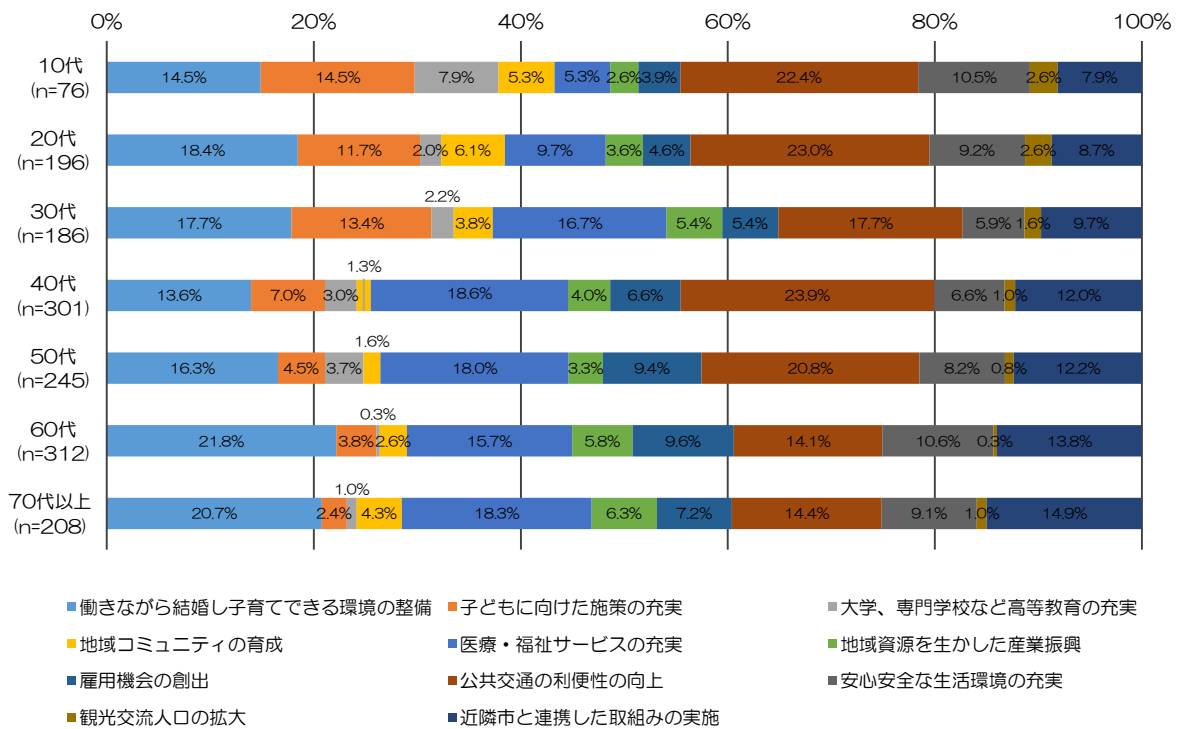
項目	回答数	回答率
働きながら結婚し子育てできる環境の整備	273	48.1%
子どもに向けた施策の充実	108	19.0%
大学、専門学校など高等教育の充実	35	6.2%
地域コミュニティの育成	48	8.5%
医療・福祉サービスの充実	242	42.6%
地域資源を生かした産業振興	70	12.3%
雇用機会の創出	111	19.5%
公共交通の利便性の向上	293	51.6%
安心安全な生活環境の充実	129	22.7%
観光交流人口の拡大	18	3.2%
近隣市と連携した取組みの実施	182	32.0%
その他	21	3.7%
回答者数	568	—

未回答3件を除く



**【クロス集計】 問9 人口減少対策 × 問3 年代**

年代別に見ると、50代までは「公共交通の利便性の向上」と回答している人が最も多く、60代以上では「働きながら結婚し子育てできる環境の整備」と回答している人が最も多い。また最も多い回答に次いで10代~30代では「働きながら結婚し子育てできる環境の整備」、40代~70代以上では「医療・福祉サービスの充実」と回答している人が多い。



## ○結婚・出産・子育てについて

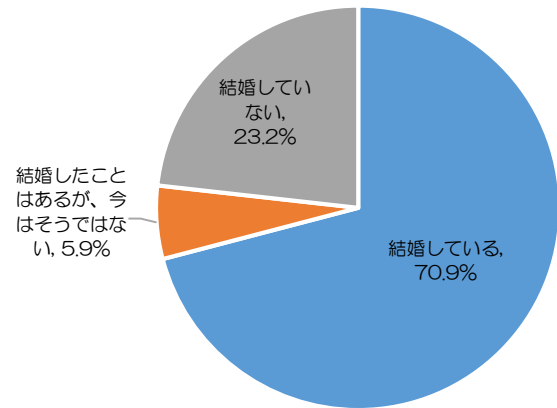
問 10 あなたはご結婚されていますか。

(1つだけに○)

婚姻について、「結婚している」と回答している人が70.9%に対し、「結婚していない」と回答している人が23.2%となっている。

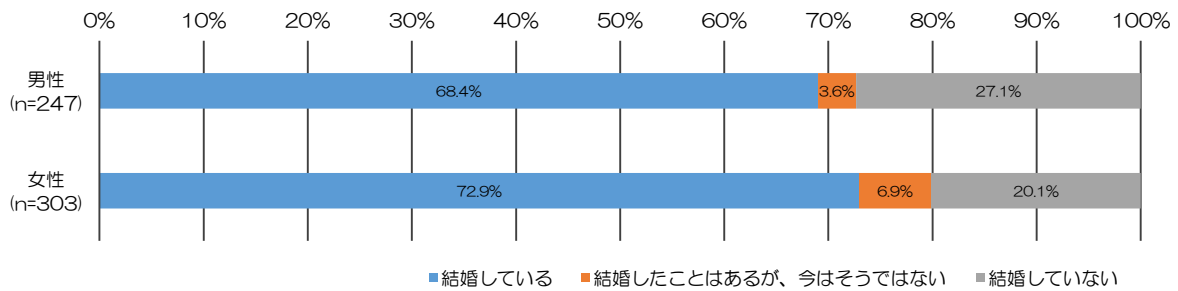
項目	回答数	構成比
結婚している	400	70.9%
結婚したことはあるが、今はそうではない	33	5.9%
結婚していない	131	23.2%
合計	564	100.0%

未回答 7 件を除く



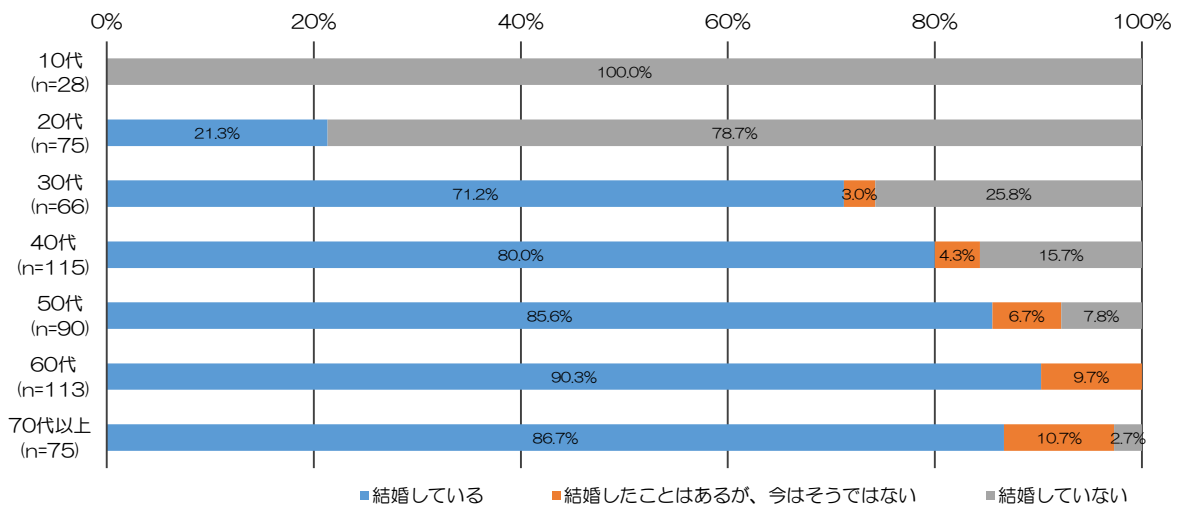
### 【クロス集計】 問10 婚姻 × 問2 性別

性別で見ると、男女ともに約70%前後の人が「結婚している」と回答している。



### 【クロス集計】 問10 婚姻 × 問3 年代

年代別に見ると、10代では既婚者はおらず、「結婚している」と回答している人は20代では21.3%、30代以上では70%以上を占めている。

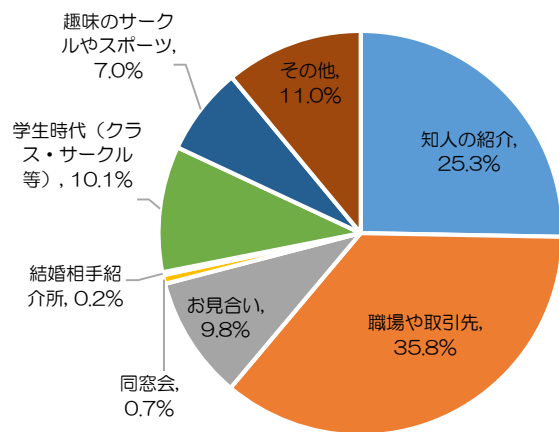


問 11 問 10 で「1. 結婚している」または「2. 結婚したことはあるが、今はそうではない」とお答えの方におうかがいします。結婚相手との出会いはなんでしたか。  
(1つだけに〇)

結婚経験がある人の結婚相手との出会いについて、「職場や取引先」と回答している人が 35.8%と最も多く、次いで「知人の紹介」と回答している人が 25.3%となっている。

項目	回答数	構成比
知人の紹介	108	25.3%
職場や取引先	153	35.8%
お見合い	42	9.8%
同窓会	3	0.7%
結婚相手紹介所	1	0.2%
学生時代(クラス・サークル等)	43	10.1%
趣味のサークルやスポーツ	30	7.0%
その他	47	11.0%
合計	427	100.0%

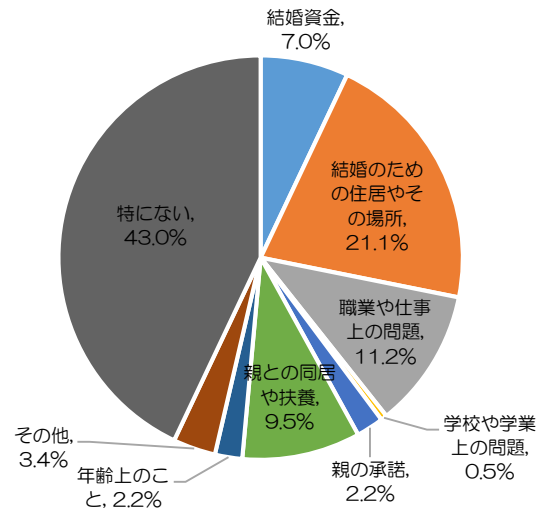
未回答 6 件を除く



問 12 問 10 で「1. 結婚している」または「2. 結婚したことはあるが、今はそうではない」とお答えの方におうかがいします。結婚をするにあたり、最も不安に思ったことはなんですか。(1つだけに〇)

結婚経験のある人が、結婚するにあたり不安に思ったことについて、「特にない」と回答している人が43.0%と最も多くなっているが、いずれかの不安要素があった人は半数以上を占めており、中でも「結婚のための住居やその場所」と回答している人が21.1%と最も多く、次いで「職業や仕事の問題」になっている。

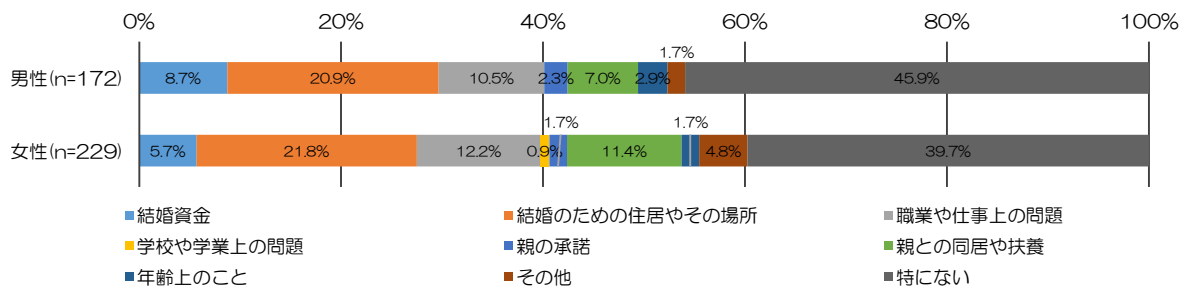
項目	回答数	構成比
結婚資金	29	7.0%
結婚のための住居やその場所	87	21.1%
職業や仕事上の問題	46	11.2%
学校や学業上の問題	2	0.5%
親の承諾	9	2.2%
親との同居や扶養	39	9.5%
年齢上的こと	9	2.2%
その他	14	3.4%
特にない	177	43.0%
合計	412	100.0%



未回答 21 件を除く

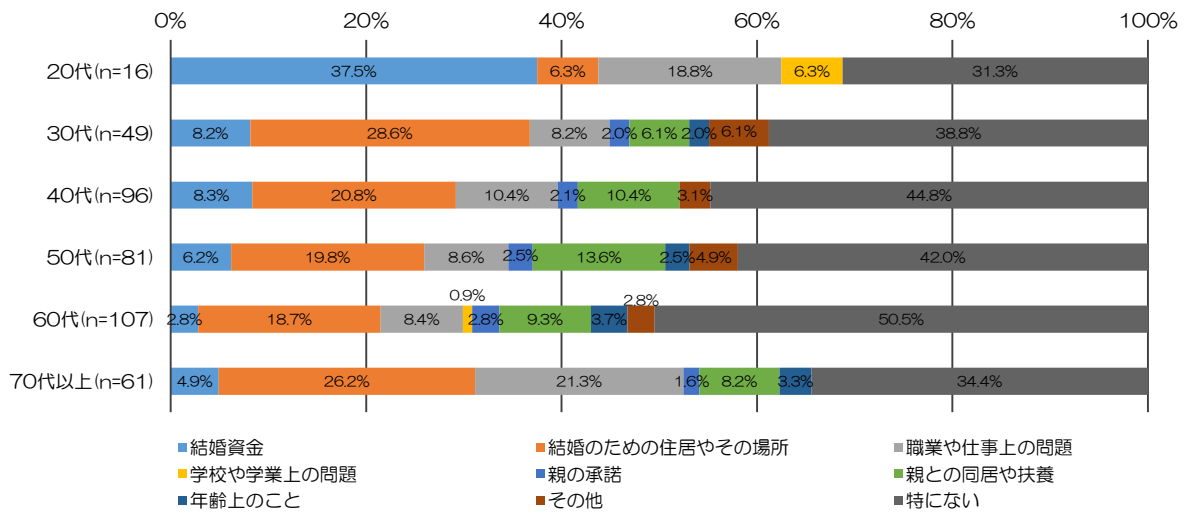
【クロス集計】 問 12 結婚するにあたっての不安 × 問 2 性別

性別で見ると、男女ともに結婚するにあたっての不安要素があった人は半数以上を占めており、「結婚のための住居やその場所」と回答している人が最も多く、次いで「職業や仕事の問題」が多くなっている。



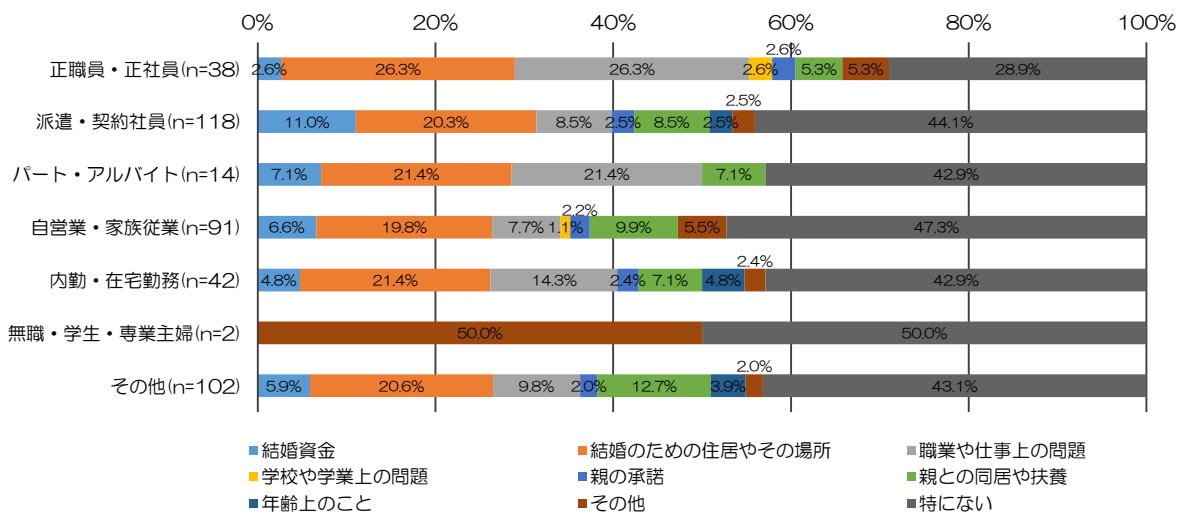
【クロス集計】 問12 結婚するにあたっての不安 × 問3 年代

年代別で見ると、30代～70代以上については「特にない」及び「結婚のための住居やその場所」と回答している人が比較的多いが、20代については「結婚資金」と回答している人が最も多くなっている。



【クロス集計】 問12 結婚するにあたっての不安 × 問5 就業形態

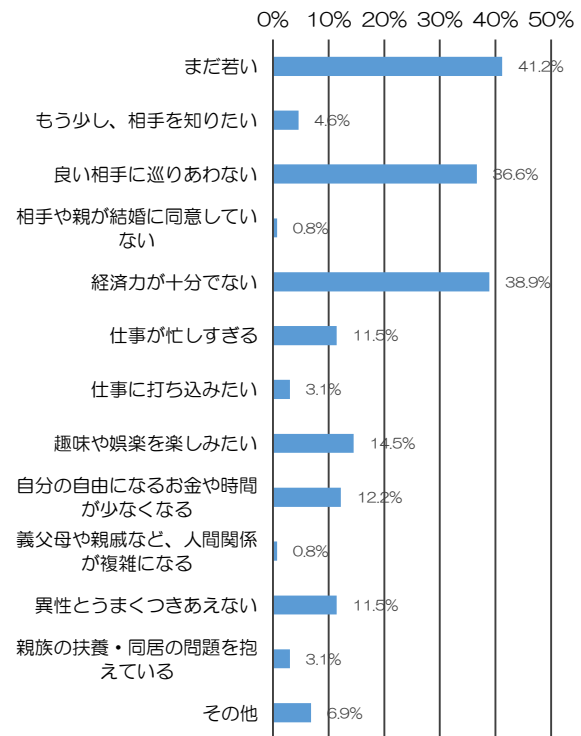
就業形態別で見ると、どの就業形態でも「特にない」と回答している人が比較的多いが、不安要素としては「結婚のための住居やその場所」と回答している人が最も多くなっている。



**問 13** 問 10 で「3. 結婚していない」とお答えの方におうかがいします。あなたが結婚していない理由はなんですか。(当てはまるものすべてに○)

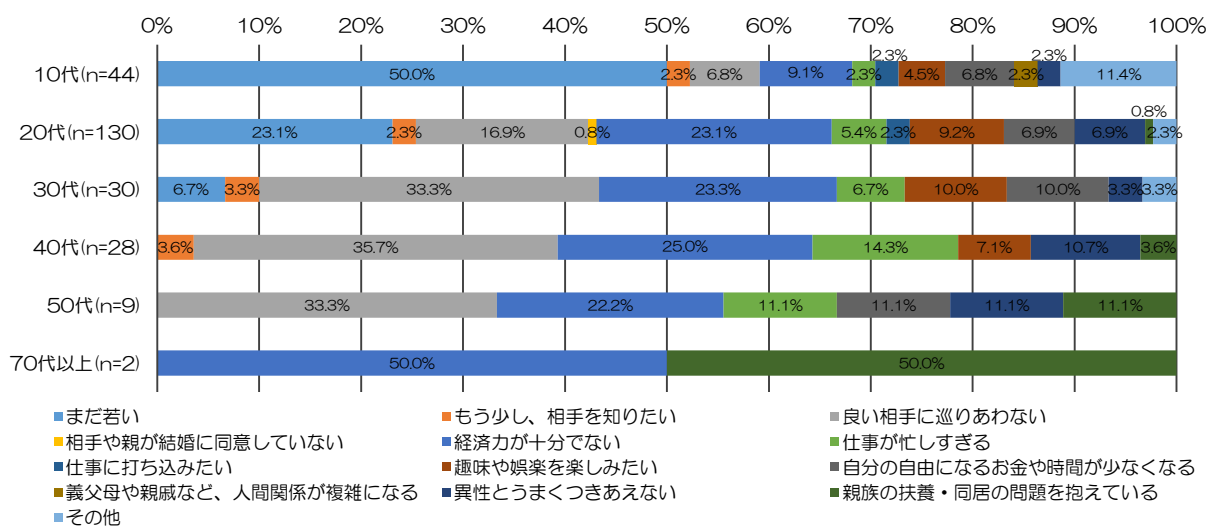
結婚していない理由について、「まだ若い」と回答している人が41.2%と最も多く、次いで「経済力が十分でない」と回答している人が38.9%となっている。

項目	回答数	回答率
まだ若い	54	41.2%
もう少し、相手を知りたい	6	4.6%
良い相手に巡りあわない	48	36.6%
相手や親が結婚に同意していない	1	0.8%
経済力が十分でない	51	38.9%
仕事が忙しすぎる	15	11.5%
仕事に打ち込みたい	4	3.1%
趣味や娯楽を楽しみたい	19	14.5%
自分の自由になるお金や時間が少なくなる	16	12.2%
義父母や親戚など、人間関係が複雑になる	1	0.8%
異性とうまくつきあえない	15	11.5%
親族の扶養・同居の問題を抱えている	4	3.1%
その他	9	6.9%
回答者数	131	—



**【クロス集計】 問 13 結婚していない理由 × 問 3 年代**

年代別に見ると、10代では「まだ若い」と回答している人が多く半数を占めており、20代以上になると、「良い相手に巡り合わない」、「経済力が十分でない」と回答している人が多い。

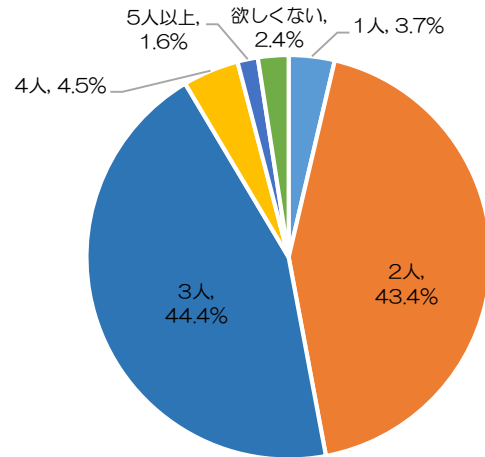


**問 14 実際持つかどうかは別として、理想の子どもの数は何人ですか。(1つだけに〇)**

理想の子どもの数について、「3人」と回答している人が44.4%と最も多く、次いで「2人」と回答している人が43.4%となっている。また、「欲しくない」場合を除いた平均人数は2.56人となっている。

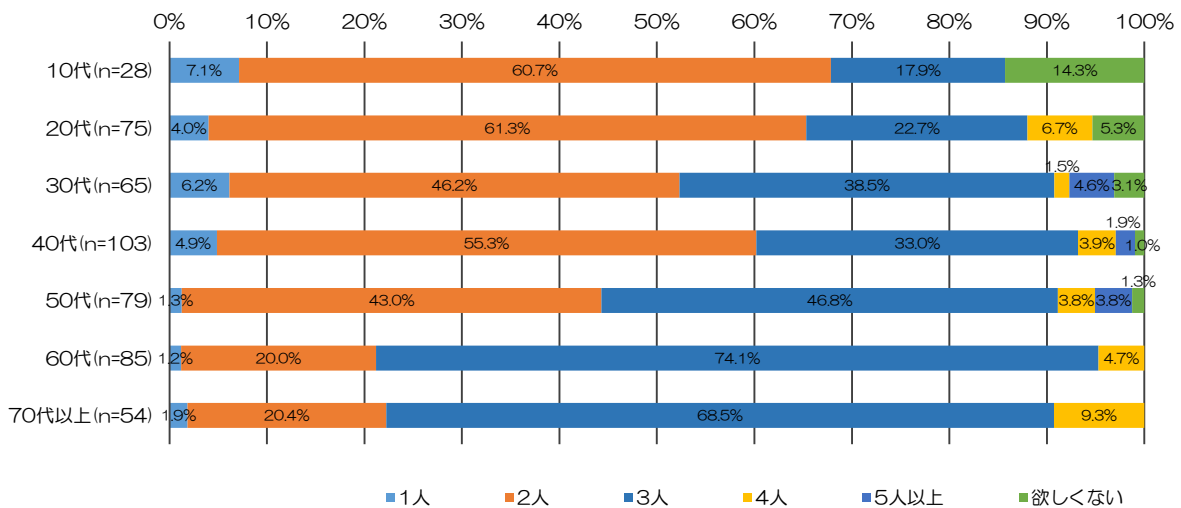
項目	回答数	構成比
1人	18	3.7%
2人	213	43.4%
3人	218	44.4%
4人	22	4.5%
5人以上	8	1.6%
欲しくない	12	2.4%
合計	491	100.0%

未回答 80 件を除く



**【クロス集計】 問 14 理想の子どもの人数 × 問 3 年代**

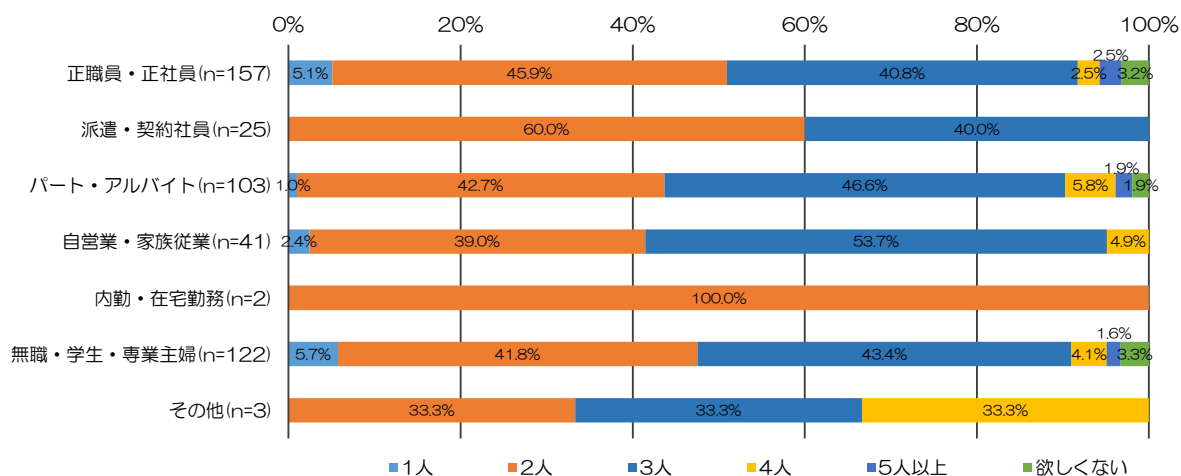
年代別に理想の子どもの数を見ると、10代では平均1.8人、20代では平均2.2人、30代では平均2.2人、40代では平均2.3人、50代では平均2.4人、60代では平均2.8人、70代以上では平均2.9人となっており、子育て世代以下（40代以下）で見ると、理想の子どもの平均人数は2.2人となっている。





【クロス集計】 問 14 理想の子どもの人数 × 問 5 就業形態

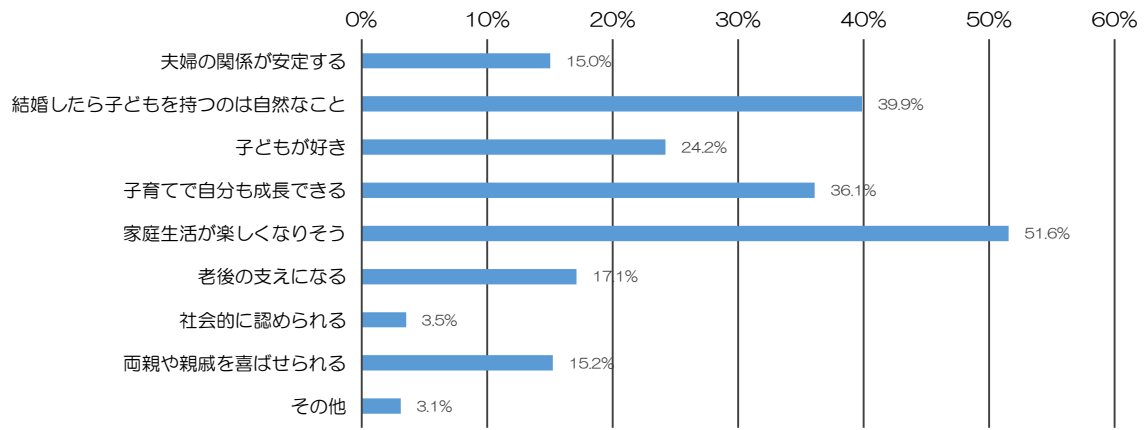
就業形態別に理想の子どもの数を見ると、正職員・正社員では 2.3 人、派遣・契約社員では 2.4 人、パート・アルバイトでは 2.5 人、自営業・家族従業では 2.6 人、内勤・在宅勤務では 2.0 人、無職・学生・専業主婦では 2.4 人となっている。



問 15 問 14 で「1. 1人」～「5. 5人以上」とお答えの方におうかがいします。子どもが欲しいと思う理由は何ですか。(3 つまでに○)

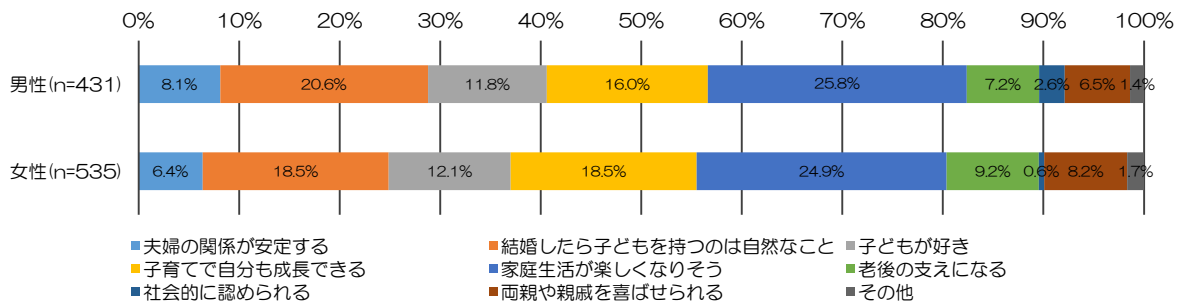
子どもが欲しい理由について、「家庭生活が楽しくなりそう」と回答している人が 51.5% と最も多く、半数を超えており、次いで「結婚したら子どもを持つのは自然なこと」と回答している人が 39.9% となっている。

項目	回答数	回答率
夫婦の関係が安定する	72	15.0%
結婚したら子どもを持つのは自然なこと	191	39.9%
子どもが好き	116	24.2%
子育てで自分も成長できる	173	36.1%
家庭生活が楽しくなりそう	247	51.6%
老後の支えになる	82	17.1%
社会的に認められる	17	3.5%
両親や親戚を喜ばせられる	73	15.2%
その他	15	3.1%
回答者数	479	—



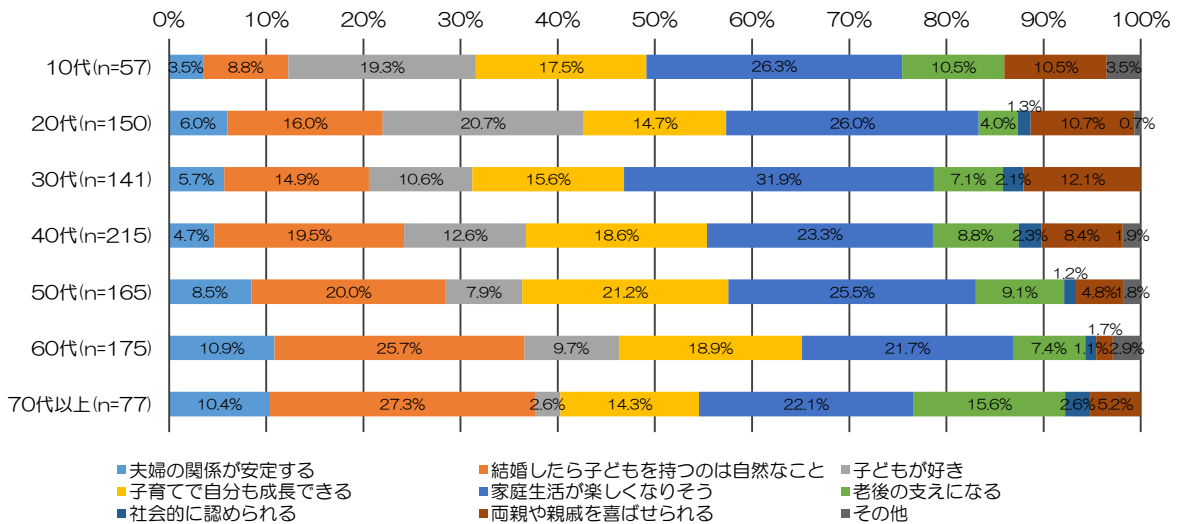
**【クロス集計】 問15 子どもが欲しい理由 × 問2 性別**

性別で見ると、男女ともに「家族生活が楽しくなりそう」と回答している人が最も多く、次いで「結婚したら子どもを持つのは自然なこと」となっているが、女性については同率で「子育てで自分も成長できる」と回答している人も多くなっている。



**【クロス集計】 問15 子どもが欲しい理由 × 問3 年代**

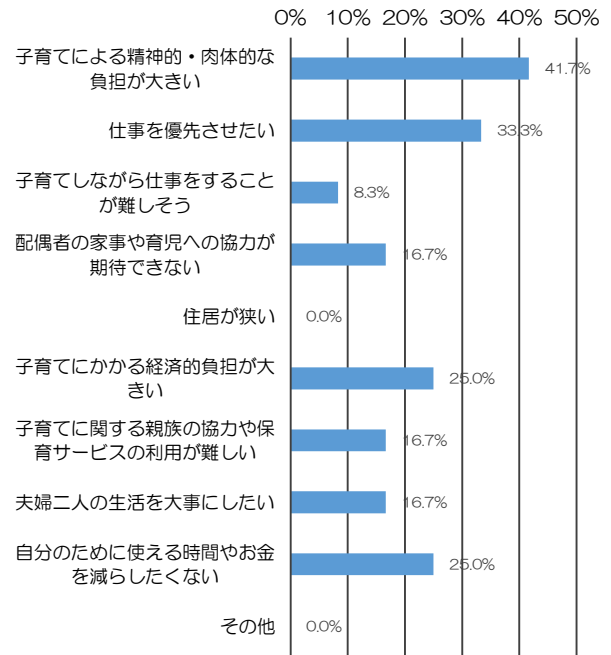
年代別に見ると、10代~40代では「家族生活が楽しくなりそう」と回答している人が最も多いが、50代以上には「結婚したら子どもを持つのは自然なこと」と回答している人が最も多くなっている。



**問 16** 問 14 で「6. 欲しくない」とお答えの方におうかがいします。子どもが欲しくない理由はなんですか。 (3つまでに〇)

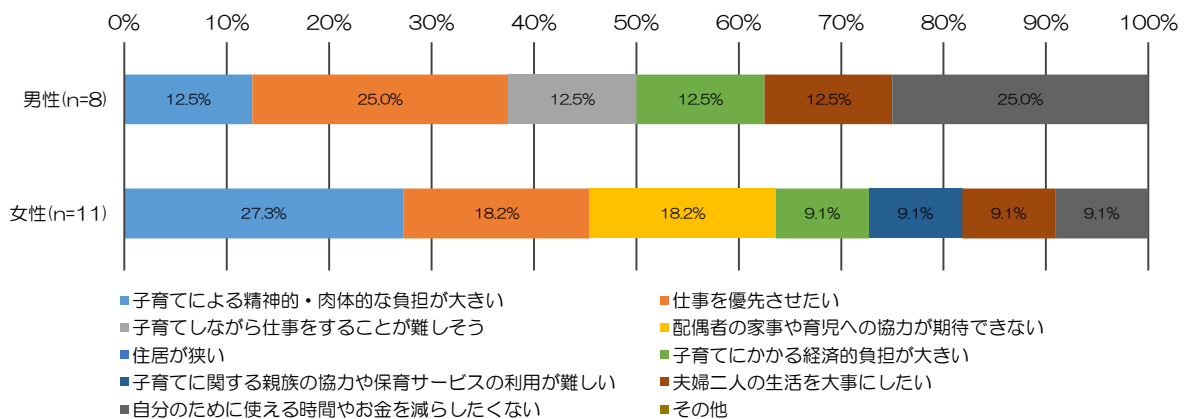
子どもが欲しくない理由について、「子育てによる精神的・肉体的な負担が大きい」と回答している人が41.7%と最も多く、次いで「仕事を優先させたい」と回答している人が33.3%となっている。

項目	回答数	回答率
子育てによる精神的・肉体的な負担が大きい	5	41.7%
仕事を優先させたい	4	33.3%
子育てしながら仕事をするのが難しそう	1	8.3%
配偶者の家事や育児への協力が期待できない	2	16.7%
住居が狭い	0	0.0%
子育てにかかる経済的負担が大きい	3	25.0%
子育てに関する親族の協力や保育サービスの利用が難しい	2	16.7%
夫婦二人の生活を大事にしたい	2	16.7%
自分のために使える時間やお金を減らしたくない	3	25.0%
その他	0	0.0%
回答者数	12	—



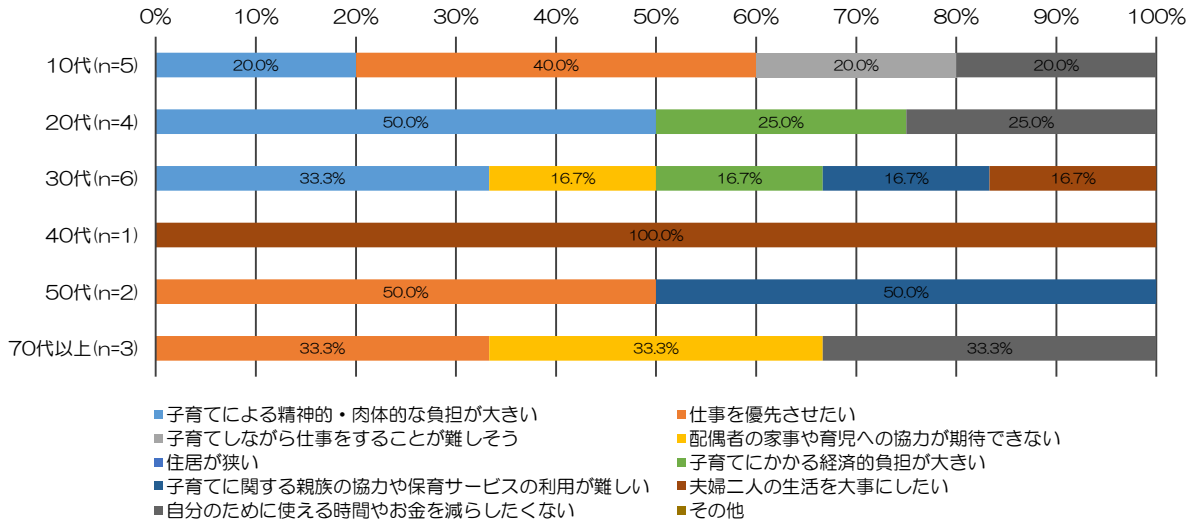
**【クロス集計】 問 16 子どもが欲しくない理由 × 問 2 性別**

性別で見ると、男性では「仕事を優先させたい」あるいは「自分のために使える時間やお金を減らしたくない」と回答している人が最も多く、女性では「子育てによる精神的・肉体的な負担が大きい」と回答している人が最も多くなっている。



**【クロス集計】 問 16 子どもが欲しくない理由 × 問 3 年代**

年代別に見ると、10代では「仕事を優先させたい」と回答している人が最も多く、20代、30代では「子育てによる精神的・肉体的な負担が大きい」と回答している人が多い。

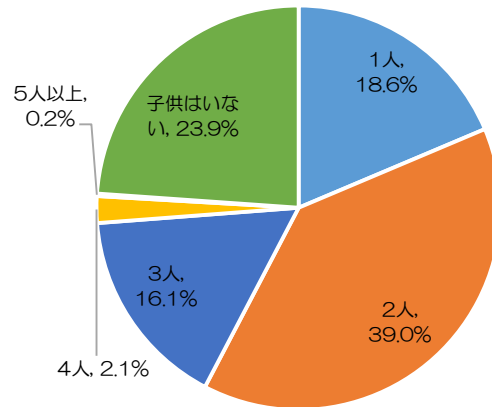


**問 17 現在のお子さんの人数をお答えください。(1つだけに○)**

現在の子どもの人数について、「2人」と回答している人が39.0%で最も多く、いない等を除いた平均人数は、2.03人となっている。

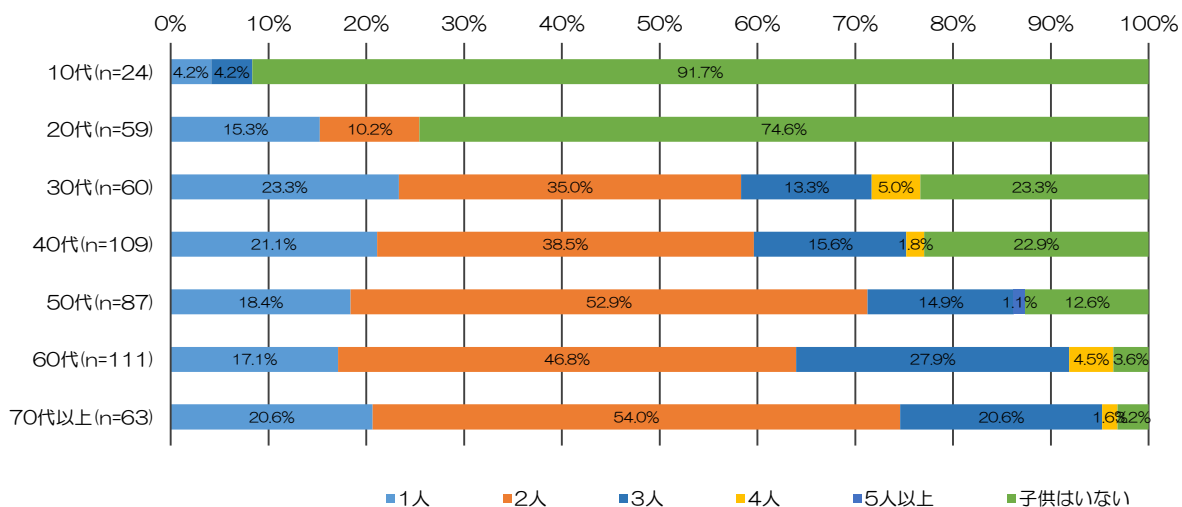
項目	回答数	構成比
1人	96	18.6%
2人	201	39.0%
3人	83	16.1%
4人	11	2.1%
5人以上	1	0.2%
子供はいない	123	23.9%
合計	515	100.0%

未回答 56 件を除く



**【クロス集計】 問17 現在の子どもの人数 × 問3 年代**

年代別に見ると、10代では平均0.2人、20代では平均0.4人、30代では平均1.5人、40代では平均1.5人、50代では平均1.7人、60代では平均2.1人、70代以上では平均2.0人となっている。

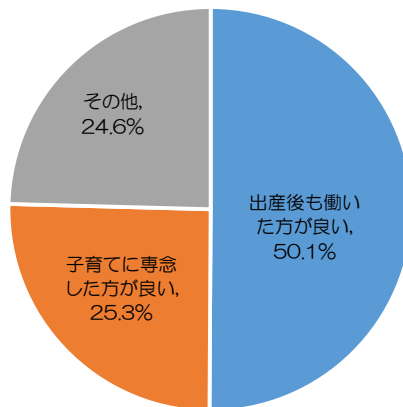


**問18** あなたは、女性は出産した後も働いた方が良いと思いますか。子育てに専念した方が良いと思いますか。(1つだけに○)

出産後の女性のあり方について、「出産後も働いた方が良い」と回答している人が50.1%と最も多くなっている。

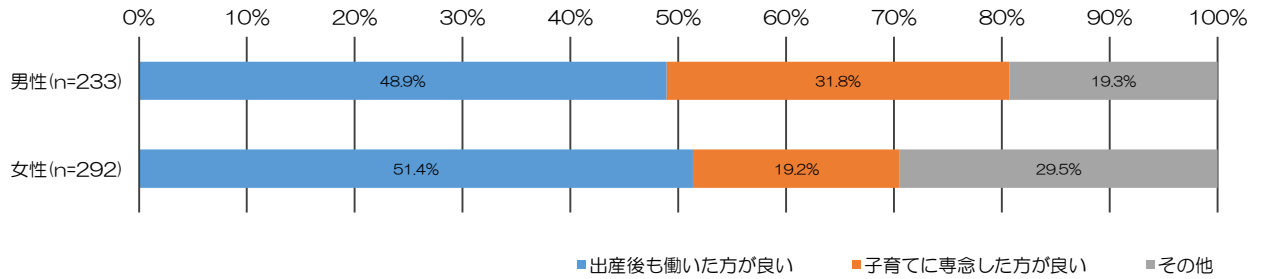
項目	回答数	構成比
出産後も働いた方が良い	269	50.1%
子育てに専念した方が良い	136	25.3%
その他	132	24.6%
合計	537	100.0%

未回答 34 件を除く



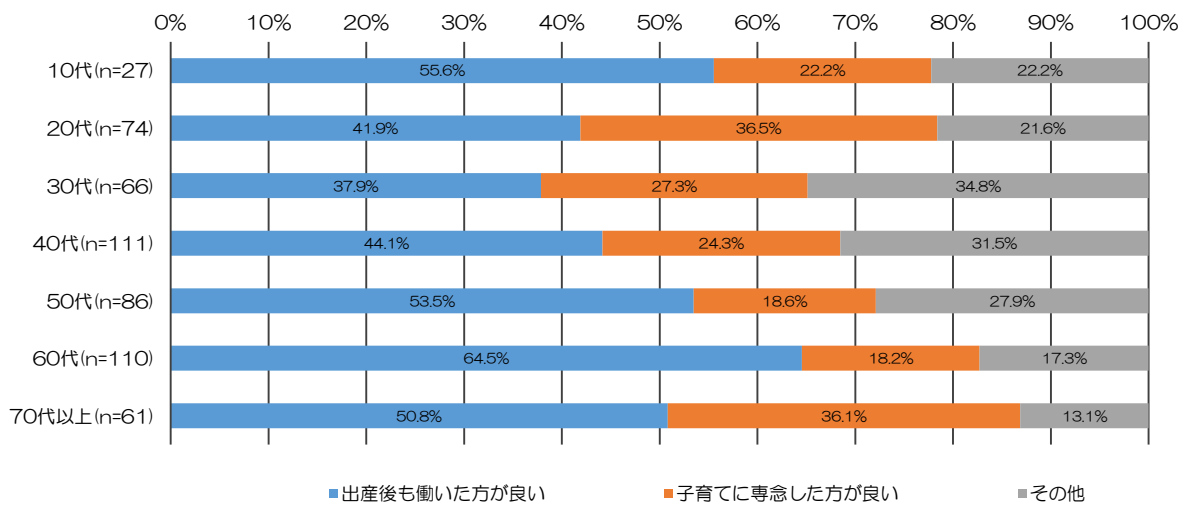
**【クロス集計】 問 18 出産後の女性のあり方 × 問 2 性別**

性別で見ると、男女ともに「出産後も働いた方がよい」と回答している人が半数近くを占めているが、男性に比べ、女性の方がその割合が高くなっている。



**【クロス集計】 問 18 出産後の女性のあり方 × 問 3 年代**

年代別に見ると、どの年代も「出産後も働いた方がよい」と回答している人が半数近くを占めている。

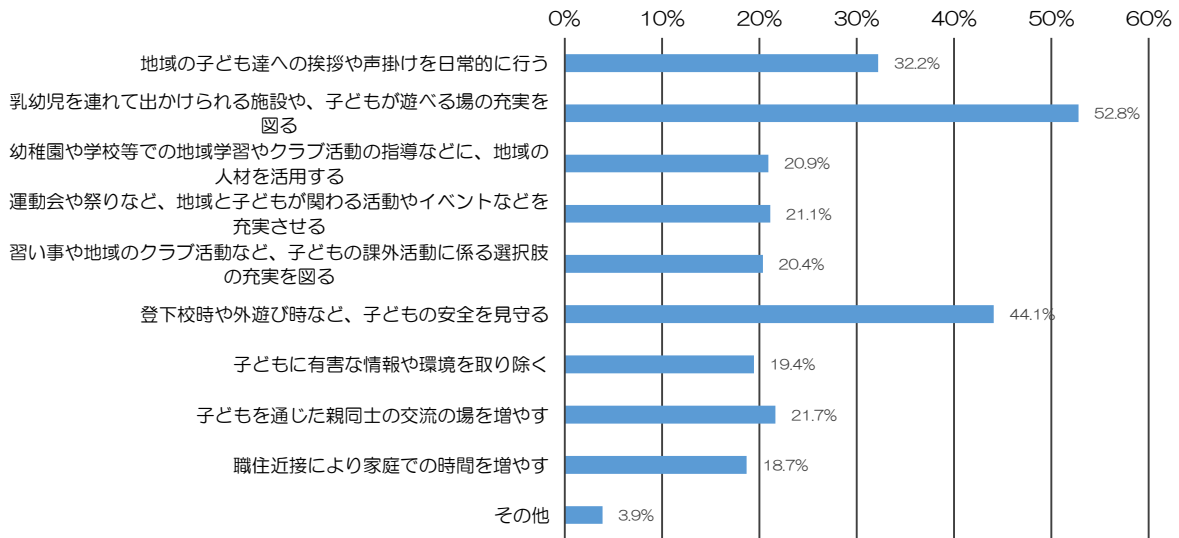


問 19 子育てしやすい地域づくりに向けて、どのような取組みが効果的だと思いますか。  
(3つまでに○)

子育てしやすい地域づくりに効果的な取組みについて、「乳幼児を連れて出かけられる施設や、子どもが遊べる場の充実を図る」と回答している人が52.8%と最も多く、次いで「登下校時や外遊び時など、子どもの安全を見守る」が44.1%、「地域の子ども達への挨拶や声掛けを日常的に行う」が32.2%となっている。

項目	回答数	回答率
地域の子ども達への挨拶や声掛けを日常的に行う	174	32.2%
乳幼児を連れて出かけられる施設や、子どもが遊べる場の充実を図る	285	52.8%
幼稚園や学校等での地域学習やクラブ活動の指導などに、地域の人材を活用する	113	20.9%
運動会や祭りなど、地域と子どもが関わる活動やイベントなどを充実させる	114	21.1%
習い事や地域のクラブ活動など、子どもの課外活動に係る選択肢の充実を図る	110	20.4%
登下校時や外遊び時など、子どもの安全を見守る	238	44.1%
子どもに有害な情報や環境を取り除く	105	19.4%
子どもを通じた親同士の交流の場を増やす	117	21.7%
職住近接により家庭での時間を増やす	101	18.7%
その他	21	3.9%
回答者数	540	—

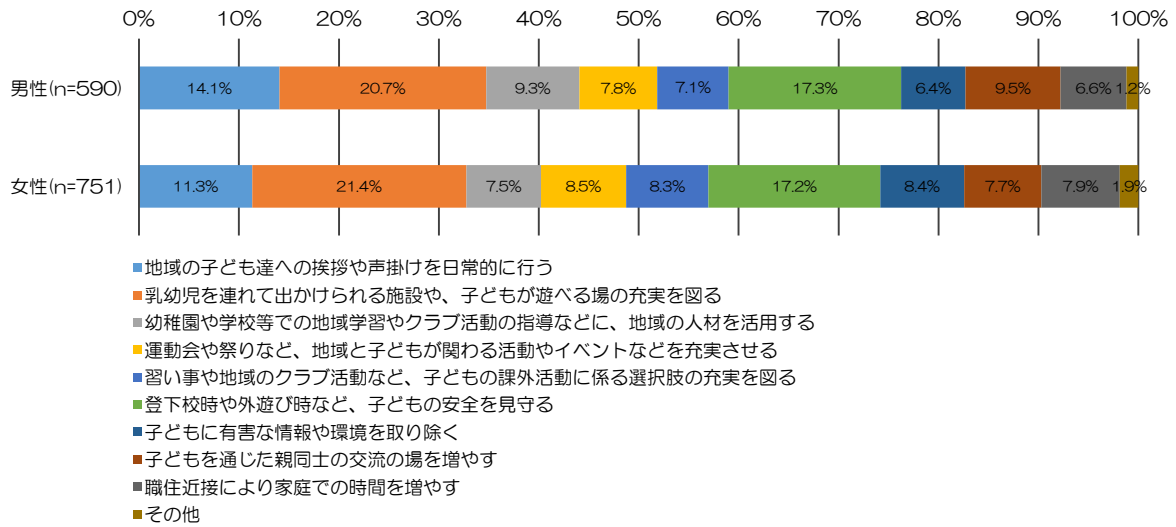
未回答 31 件を除く





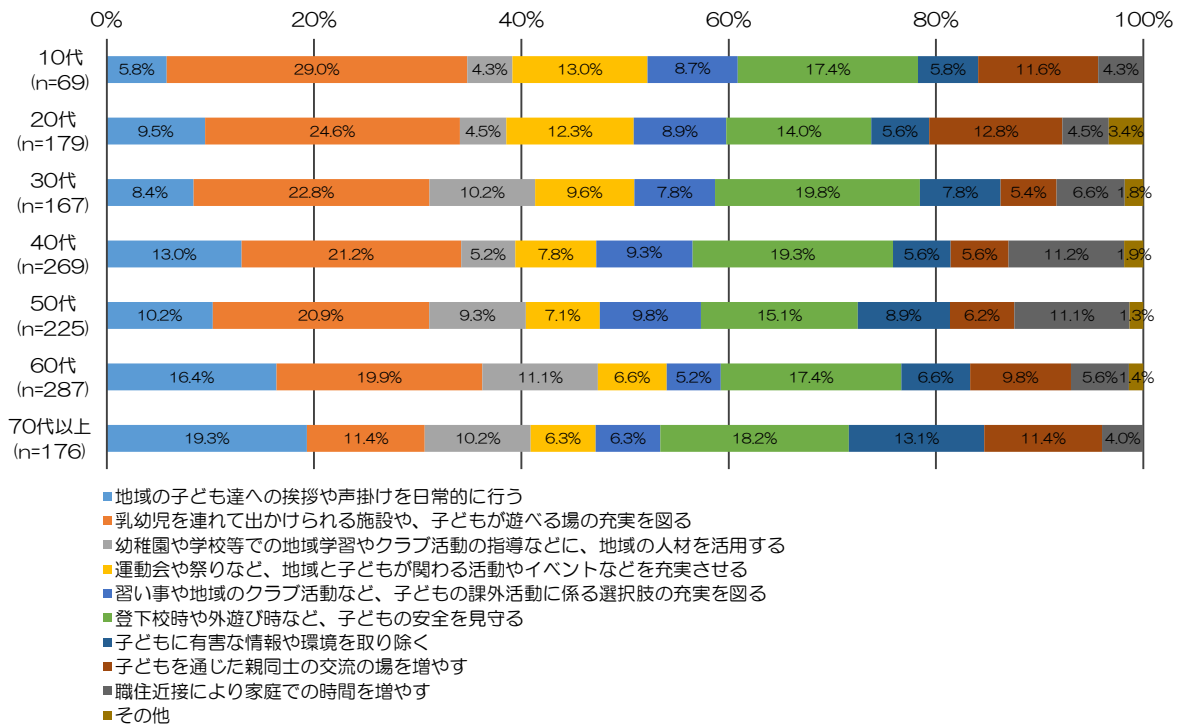
**【クロス集計】 問 19 子育てしやすい地域づくりの取組み × 問 2 性別**

性別で見ると、男女ともに「乳幼児を連れて出かけられる施設や、子どもが遊べる場の充実を図る」と回答している人が最も多く、次いで「登下校時や外遊び時など、子どもの安全を見守る」と回答している人が多くなっている。



**【クロス集計】 問 19 子育てしやすい地域づくりの取組み × 問 3 年代**

年代別で見ると、10代~60代では「乳幼児を連れて出かけられる施設や、子どもが遊べる場の充実を図る」と回答している人が最も多く、70代以上では「地域の子供達への挨拶や声掛けを日常的に行う」と回答している人が最も多くなっている。



## ○就職について(学生)

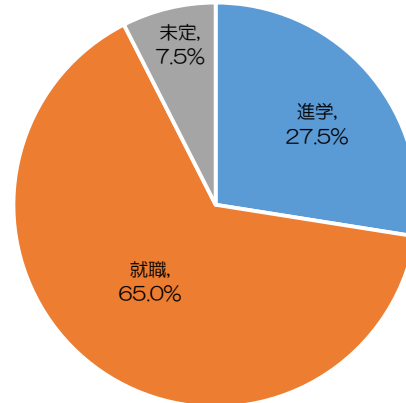
問 20 卒業後の進路希望を教えてください

(1つだけに○)

卒業後の進路希望について、「就職」と回答している人が65.0%と最も多く、次いで「進学」と回答している人が27.5%となっている。

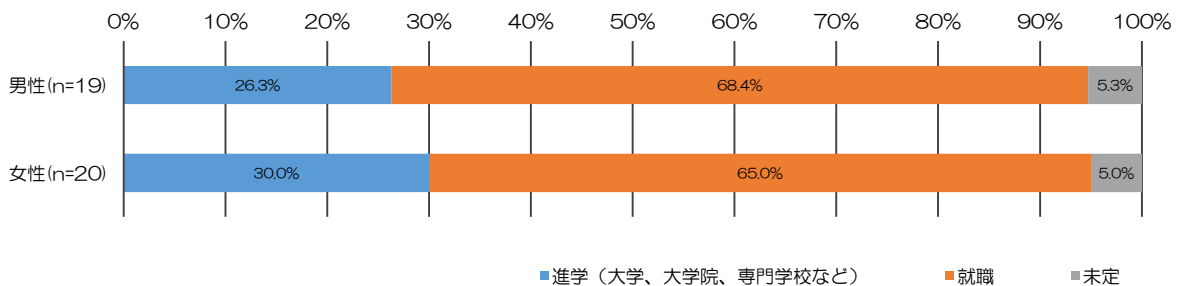
項目	回答数	構成比
進学	11	27.5%
就職	26	65.0%
未定	3	7.5%
合計	40	100.0%

未回答 1 件を除く



### 【クロス集計】 問 20 進路希望 × 問 2 性別

性別で見ると、男女ともに「就職」と回答している人が最も多く、半数以上を占めている。



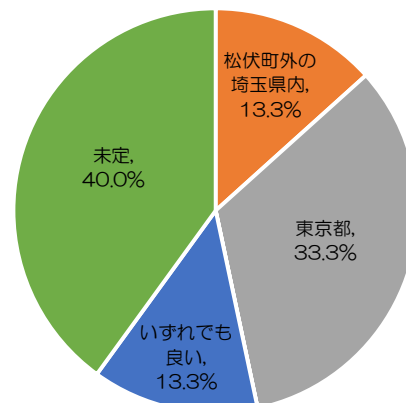
問 21

問 20 で「1. 進学」とお答えの方におうかがいします。進学先は、どこを希望しますか。(それぞれ1つだけに○)

進学先の希望について、「未定」と回答している人が40.0%と最も多く、次いで、「東京都」と回答している人が33.3%となっている。また、「松伏町内」と回答している人はいない。

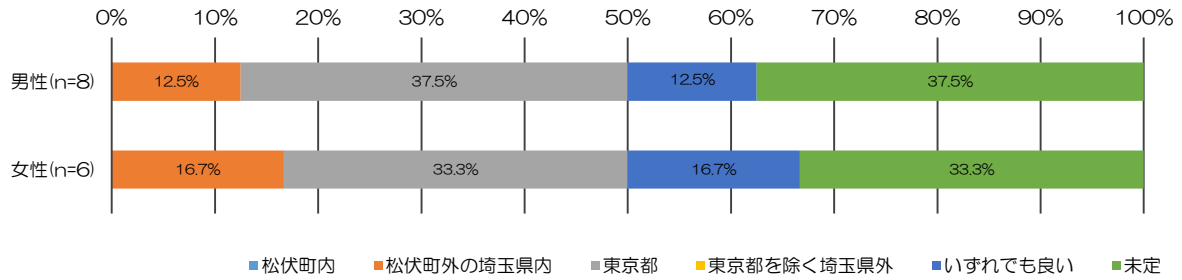
項目	回答数	構成比
松伏町内	0	0.0%
松伏町外の埼玉県内	2	13.3%
東京都	5	33.3%
東京都を除く埼玉県外	0	0.0%
いずれでも良い	2	13.3%
未定	6	40.0%
合計	15	100.0%

未回答 26 件を除く



**【クロス集計】 問21 進学先 × 問2 性別**

性別で見ると、男女ともに「未定」あるいは「東京都」と回答している人が最も多くなっている。

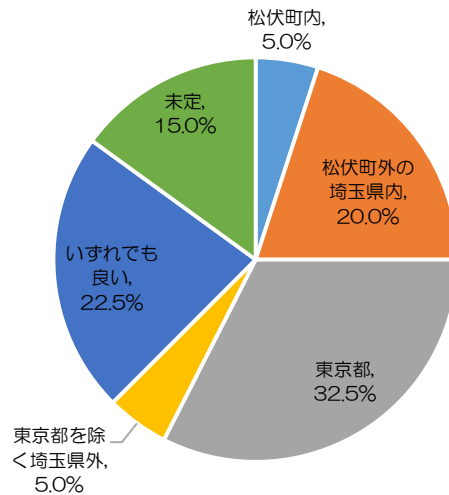


**問22 卒業後の就職先は、どこを希望しますか。(1つだけに○)**

卒業後の就職先として、「東京都」と回答している人が32.5%と最も多く、次いで「いずれでも良い」が22.5%、「松伏町外の埼玉県内」が20.0%となっている。

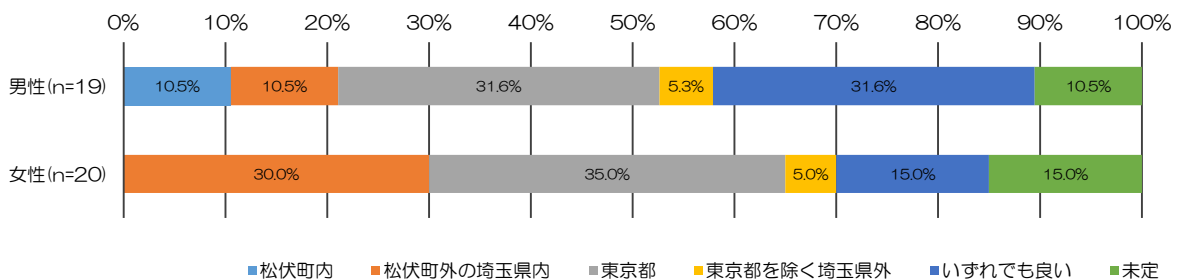
項目	回答数	構成比
松伏町内	2	5.0%
松伏町外の埼玉県内	8	20.0%
東京都	13	32.5%
東京都を除く埼玉県外	2	5.0%
いずれでも良い	9	22.5%
未定	6	15.0%
合計	40	100.0%

未回答 1 件を除く



**【クロス集計】 問22 就職先 × 問2 性別**

男女別に見ると、男女ともに「東京都」と回答している人が最も多くなっており、女性は「松伏町内」と回答している人はいない。



問 23 あなたは将来どんな仕事がしたいですか。

(3つまでに〇)

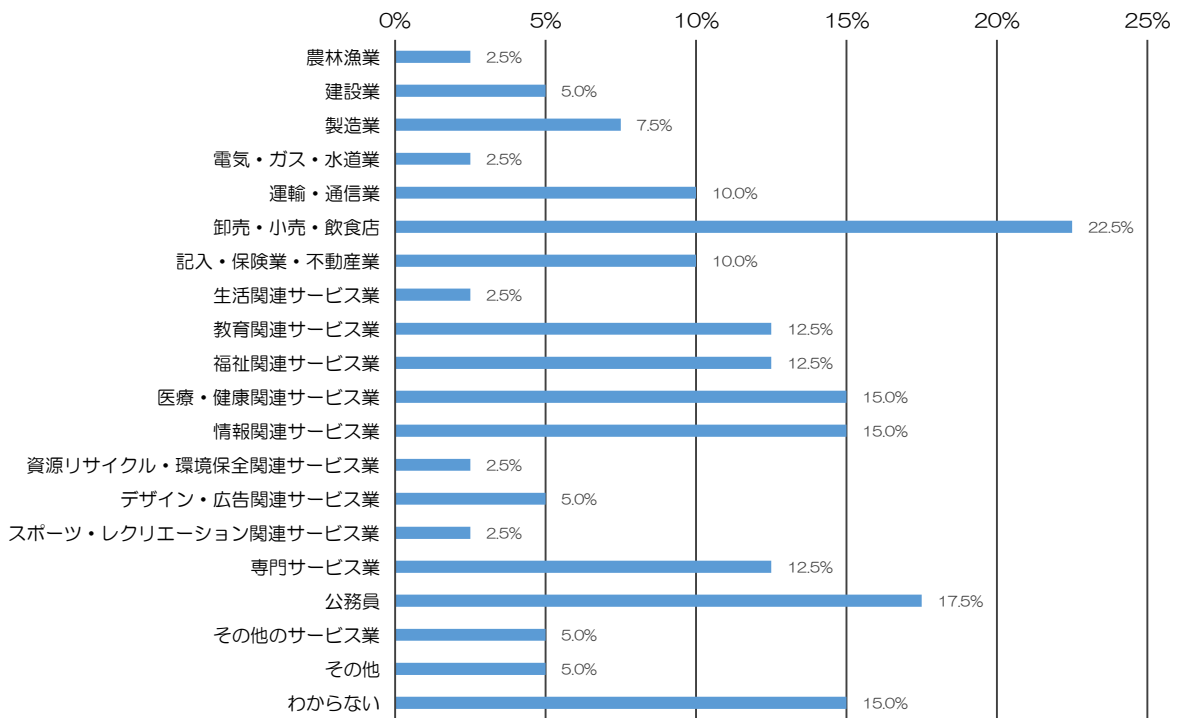
将来就きたい仕事について、「卸売・小売・飲食店」と回答している人が22.5%と最も多く、次いで「公務員」17.5%、「医療・健康関連サービス業」、「情報関連サービス業」がそれぞれ15.0%、「教育関連サービス業」、「福祉関連サービス業」、「専門サービス業」がそれぞれ12.5%となっている。

一方で、「農林漁業」、「電気・ガス・水道業」、「生活関連サービス業」、「資源リサイクル・環境保全関連サービス業」、「スポーツ・レクリエーション関連サービス業」と回答している人はそれぞれ2.5%と最も少なくなっている。

項目	回答数	回答率
農林漁業	1	2.5%
建設業	2	5.0%
製造業	3	7.5%
電気・ガス・水道業	1	2.5%
運輸・通信業	4	10.0%
卸売・小売・飲食店	9	22.5%
記入・保険業・不動産業	4	10.0%
生活関連サービス業	1	2.5%
教育関連サービス業	5	12.5%
福祉関連サービス業	5	12.5%

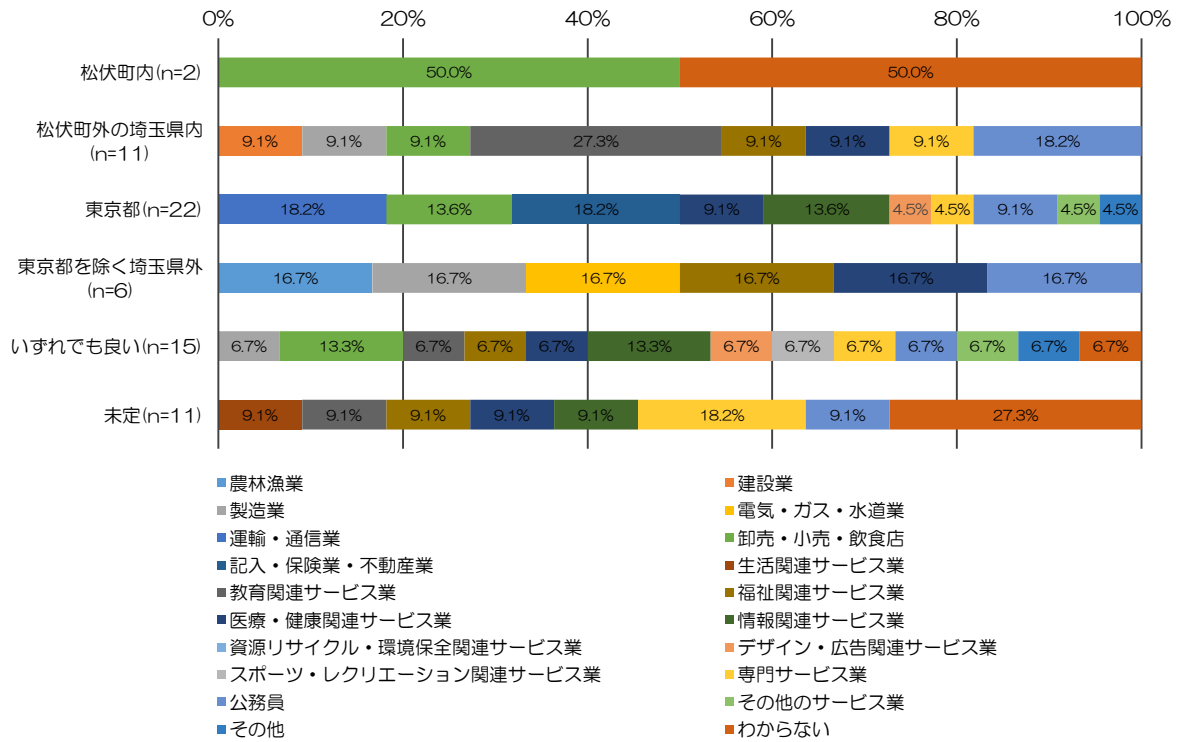
未回答 1 件を除く

項目	回答数	回答率
医療・健康関連サービス業	6	15.0%
情報関連サービス業	6	15.0%
資源リサイクル・環境保全関連サービス業	1	2.5%
デザイン・広告関連サービス業	2	5.0%
スポーツ・レクリエーション関連サービス業	1	2.5%
専門サービス業	5	12.5%
公務員	7	17.5%
その他のサービス業	2	5.0%
その他	2	5.0%
わからない	6	15.0%
回答者数	40	—



【クロス集計】 問23 将来就きたい仕事 × 問22 就職先

就職先別に見ると、松伏町外の埼玉県内では「教育関連サービス業」、東京都では「運輸・通信業」及び「記入・保険業・不動産業」が最も多くなっている。松伏町内で就きたい仕事としては「卸売・小売・飲食店」が挙げられている。



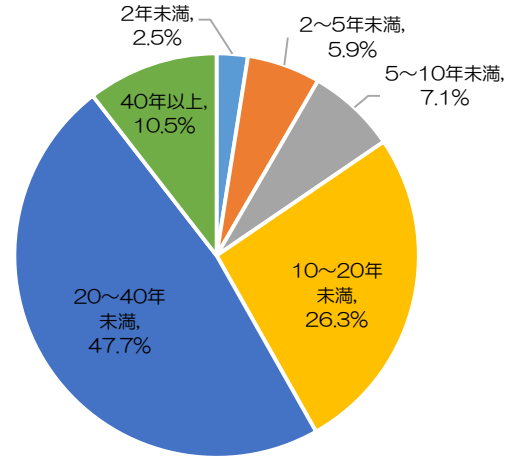
## ○住みよさと定住意向について

問 24 あなたは松伏町に住んで何年になりますか。 (1つだけに○)

松伏町での居住年数について、「20～40年未満」と回答している人が47.7%と最も多く、次いで「10～20年未満」と回答している人が26.3%となっている。

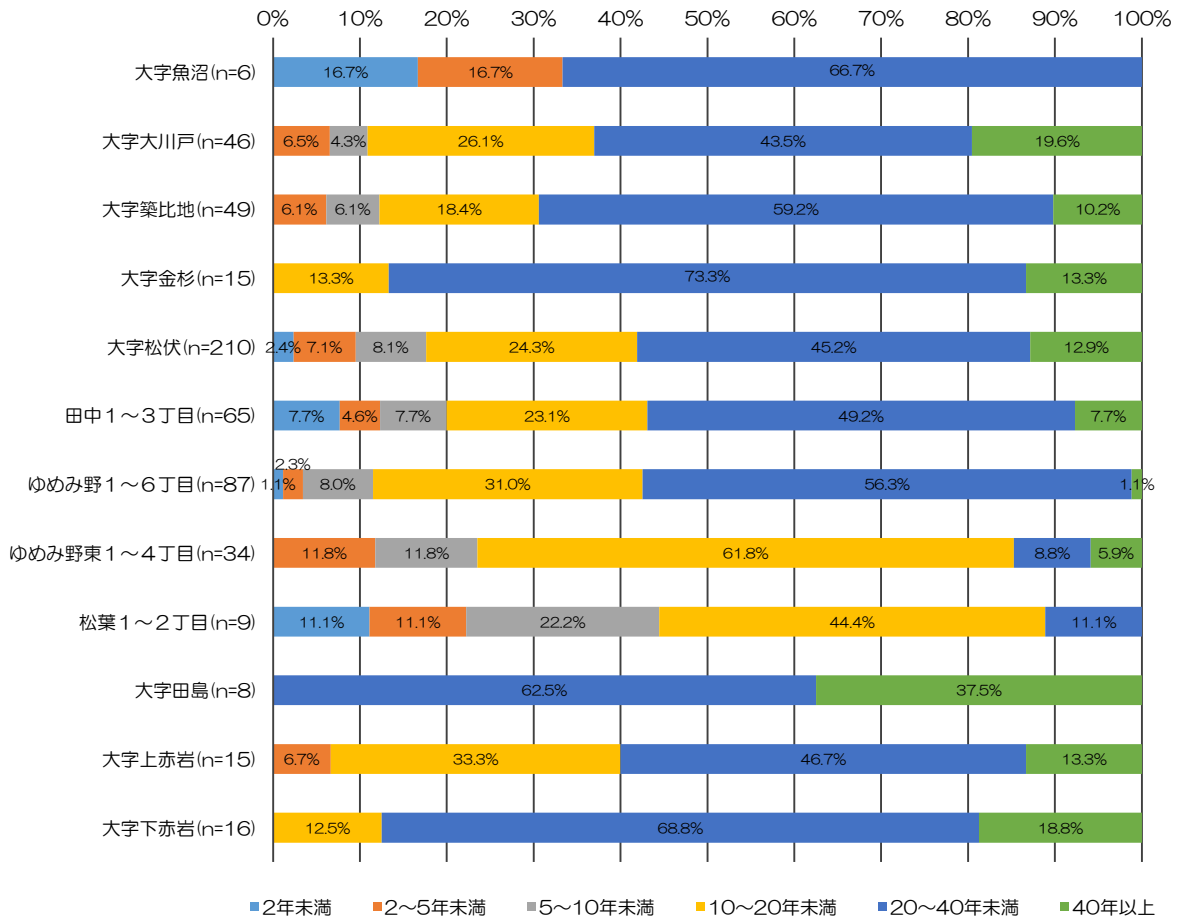
項目	回答数	構成比
2年未満	14	2.5%
2～5年未満	33	5.9%
5～10年未満	40	7.1%
10～20年未満	148	26.3%
20～40年未満	268	47.7%
40年以上	59	10.5%
合計	562	100.0%

未回答9件を除く



### 【クロス集計】 問 24 居住年数 × 問 1 住まい

住まい別に見ると、ゆめみ野東1～4丁目と松葉1～2丁目では「10～20年未満」回答している人が最も多く、それ以外の住まいでは「20～40年未満」と回答している人が最も多くなっている。

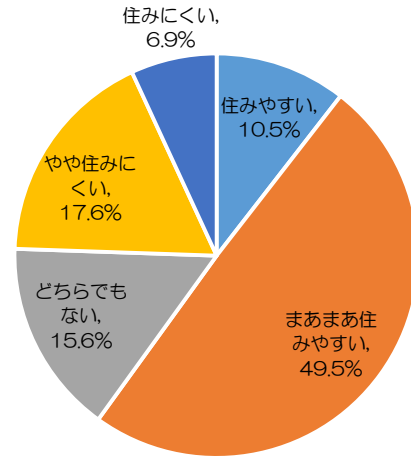


**問 25 松伏町は、「住みよい、くらしやすい町」とだと思いますか。 (1つだけに○)**

松伏町の住みよさ・くらしやすさについて、「まあまあ住みやすい」と回答している人が49.5%と最も多く、次いで「やや住みにくい」と回答している人が17.6%となっている。

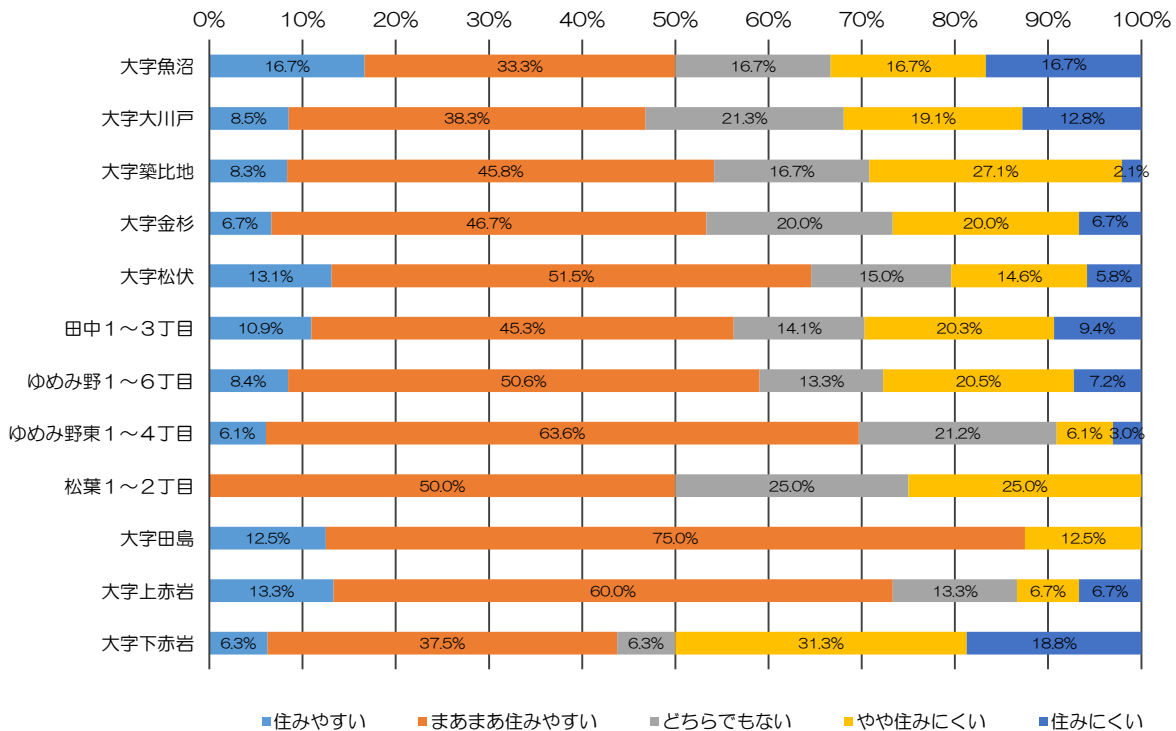
項目	回答数	構成比
住みやすい	58	10.5%
まあまあ住みやすい	273	49.5%
どちらでもない	86	15.6%
やや住みにくい	97	17.6%
住みにくい	38	6.9%
合計	552	100.0%

未回答 19 件を除く



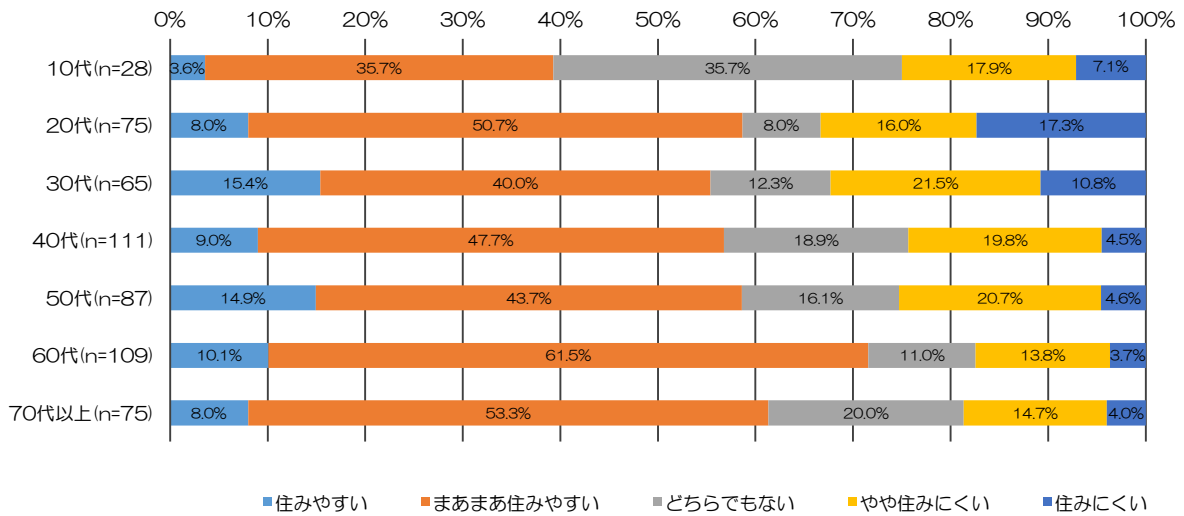
**【クロス集計】 問 25 住みよさ・くらしやすさ × 問 1 住まい**

住まい別に見ると、全体的に「やや住みにくい」あるいは「住みにくい」と回答している人に比べ、「住みやすい」あるいは「まあまあ住みやすい」と回答している人の割合が多くなっているが、大字下赤岩については「やや住みにくい」あるいは「住みにくい」と回答している人の割合の方が高くなっている。



【クロス集計】 問25 住みよさ・くらしやすさ × 問3 年代

年代別に見ると、どの年代も「やや住みにくい」あるいは「住みにくい」と回答している人に比べ、「住みやすい」あるいは「まあまあ住みやすい」と回答している人が多くなっている。



問26

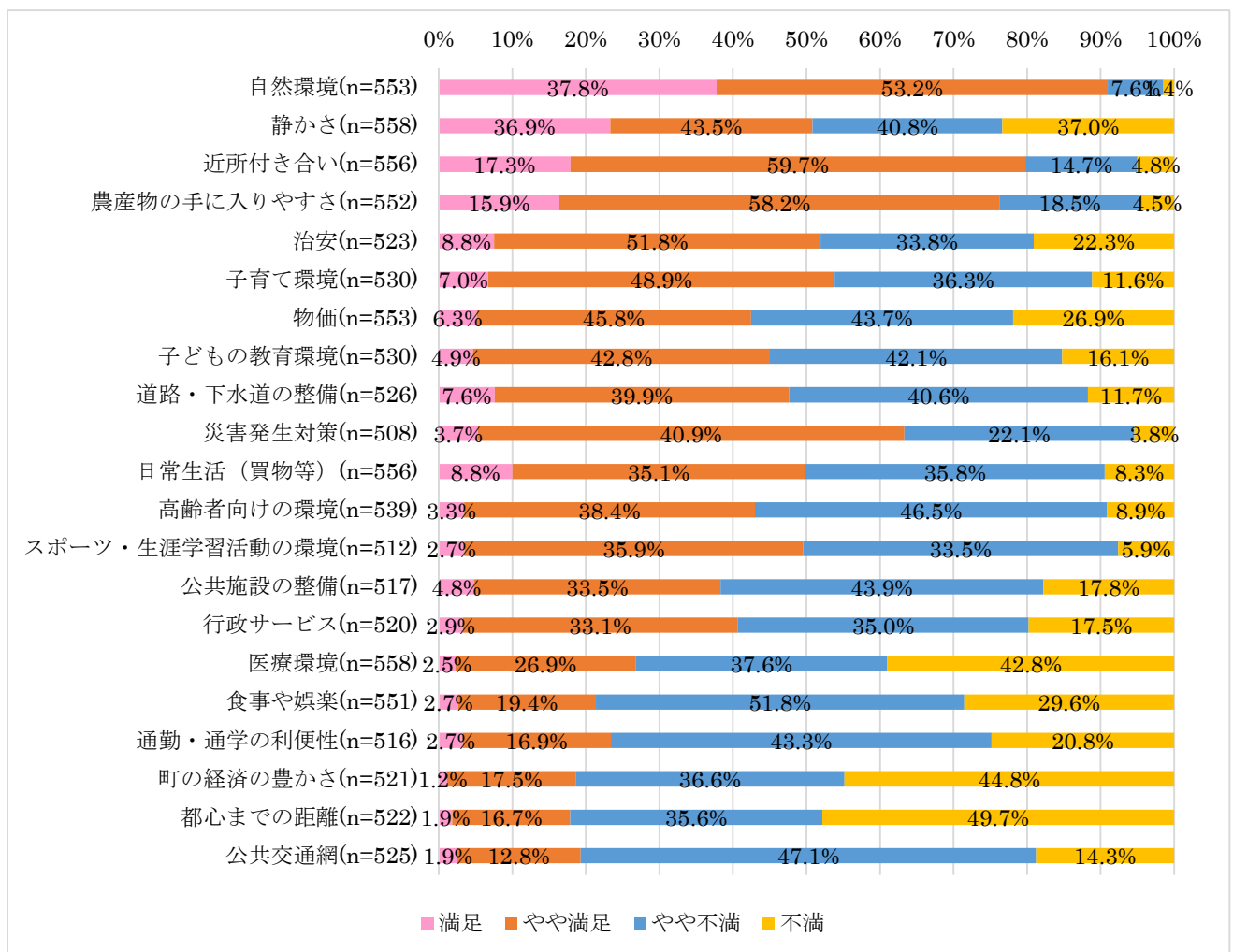
松伏町の「住みやすさ、くらしやすさ」の視点から以下の項目についてどの程度満足されていますか。  
(各項目当てはまるものに○)

「住みやすさ、くらしやすさ」の視点での各分野の満足度と不満度について、「満足（不満）」と「やや満足（不満）」の合算を満足（不満）とみなすと、「自然環境（91.0%）」、「静かさ（80.4%）」、「近所付き合い（77.0%）」、「農産物の手に入りやすさ（74.2%）」は満足度が高くなっている一方で、「公共交通網（85.3%）」、「都心までの距離（81.4%）」、「町の経済の豊かさ（81.4%）」、「通勤・通学の利便性（80.4%）」は不満度が高くなっている。

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	合計	未回答
自然環境	209 37.8%	294 53.2%	42 7.6%	8 1.4%	553 100.0%	18
静かさ	206 36.9%	243 43.5%	82 14.7%	27 4.8%	558 100.0%	13
近所付き合い	96 17.3%	332 59.7%	103 18.5%	25 4.5%	556 100.0%	15
農産物の手に入りやすさ	88 15.9%	321 58.2%	122 22.1%	21 3.8%	552 100.0%	19
治安	46 8.8%	271 51.8%	175 33.5%	31 5.9%	523 100.0%	48
子育て環境	37 7.0%	259 48.9%	190 35.8%	44 8.3%	530 100.0%	41
物価	35 6.3%	253 45.8%	201 36.3%	64 11.6%	553 100.0%	18
子どもの教育環境	26 4.9%	227 42.8%	215 40.6%	62 11.7%	530 100.0%	41
道路・下水道の整備	40 7.6%	210 39.9%	184 35.0%	92 17.5%	526 100.0%	45



災害発生対策	19 3.7%	208 40.9%	236 46.5%	45 8.9%	508 100.0%	63
日常生活（買物等）	49 8.8%	195 35.1%	188 33.8%	124 22.3%	556 100.0%	15
高齢者向けの環境	18 3.3%	207 38.4%	227 42.1%	87 16.1%	539 100.0%	32
スポーツ・生涯学習活動の環境	14 2.7%	184 35.9%	241 47.1%	73 14.3%	512 100.0%	59
公共施設の整備	25 4.8%	173 33.5%	227 43.9%	92 17.8%	517 100.0%	54
行政サービス	15 2.9%	172 33.1%	225 43.3%	108 20.8%	520 100.0%	51
医療環境	14 2.5%	150 26.9%	244 43.7%	150 26.9%	558 100.0%	13
食事や娯楽	15 2.7%	107 19.4%	225 40.8%	204 37.0%	551 100.0%	20
通勤・通学の利便性	14 2.7%	87 16.9%	194 37.6%	221 42.8%	516 100.0%	55
町の経済の豊かさ	6 1.2%	91 17.5%	270 51.8%	154 29.6%	521 100.0%	50
都心までの距離	10 1.9%	87 16.7%	191 36.6%	234 44.8%	522 100.0%	49
公共交通網	10 1.9%	67 12.8%	187 35.6%	261 49.7%	525 100.0%	46

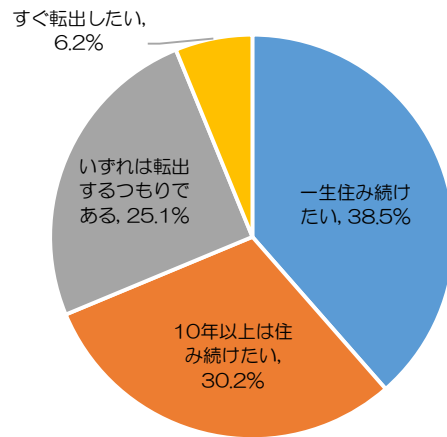


**問 27 あなたはこれからも松伏町に住み続けたいと思いますか。 (1つだけに○)**

定住意向について、「一生住み続けたい」と回答している人が38.5%と最も多く、次いで「10年以上は住み続けたい」と回答している人が30.2%となっている。

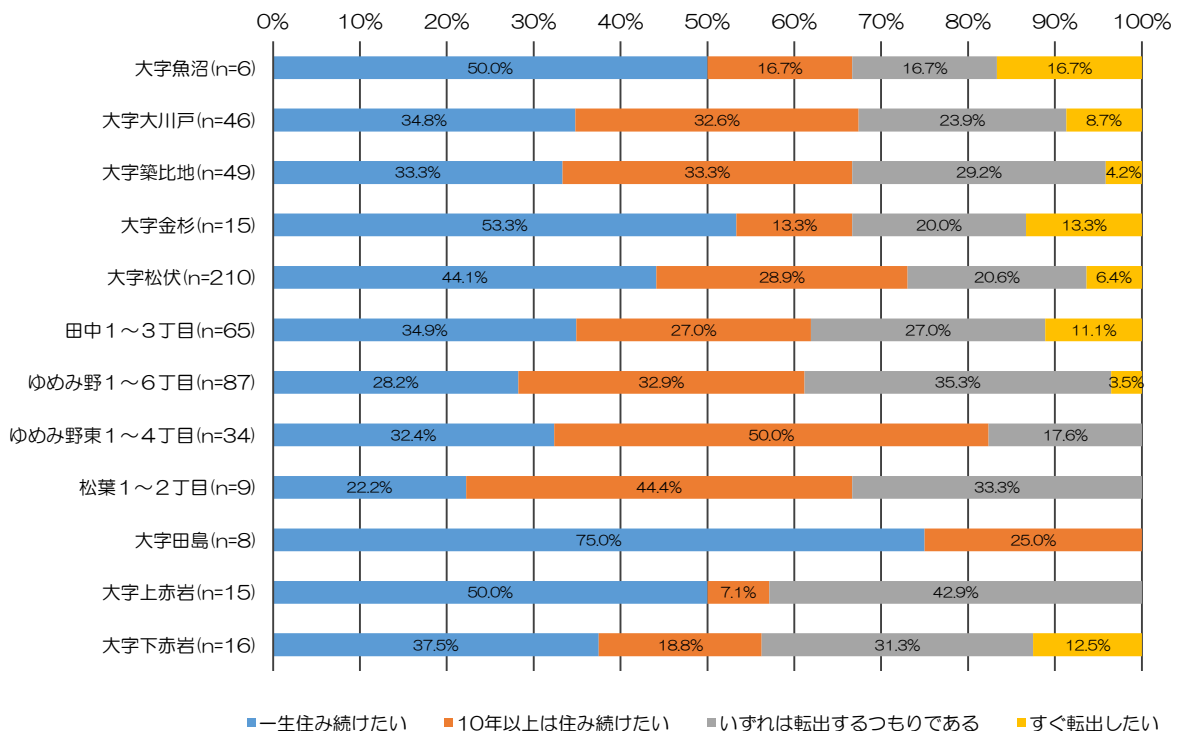
項目	回答数	構成比
一生住み続けたい	212	38.5%
10年以上は住み続けたい	166	30.2%
いずれは転出するつもりである	138	25.1%
すぐ転出したい	34	6.2%
合計	550	100.0%

未回答 21 件を除く



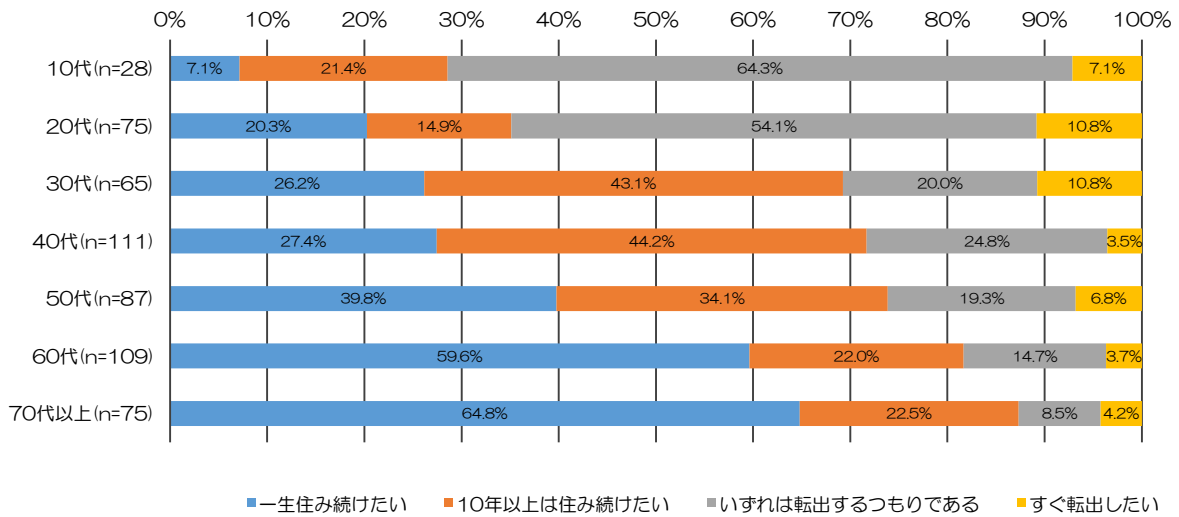
**【クロス集計】 問 27 定住意向 × 問 1 住まい**

住まい別に見ると、どの地域でも「一生住み続けたい」あるいは「10年以上は住み続けたい」と回答している人が多いが、ゆめみ野 1～6 丁目では「いずれは転出するつもりである」と回答している人が最も多くなっている。



**【クロス集計】 問 27 定住意向 × 問 3 年代**

年代別に見ると、10 代、20 代は「いずれは転出するつもりである」あるいは「すぐ転出したい」と回答指定人が半数以上を占めている。また、30 代、40 代は「10 年以上は住み続けたい」と回答している人が多く、50 代以上になると、「一生住み続けたい」と回答している人が多くなっている。

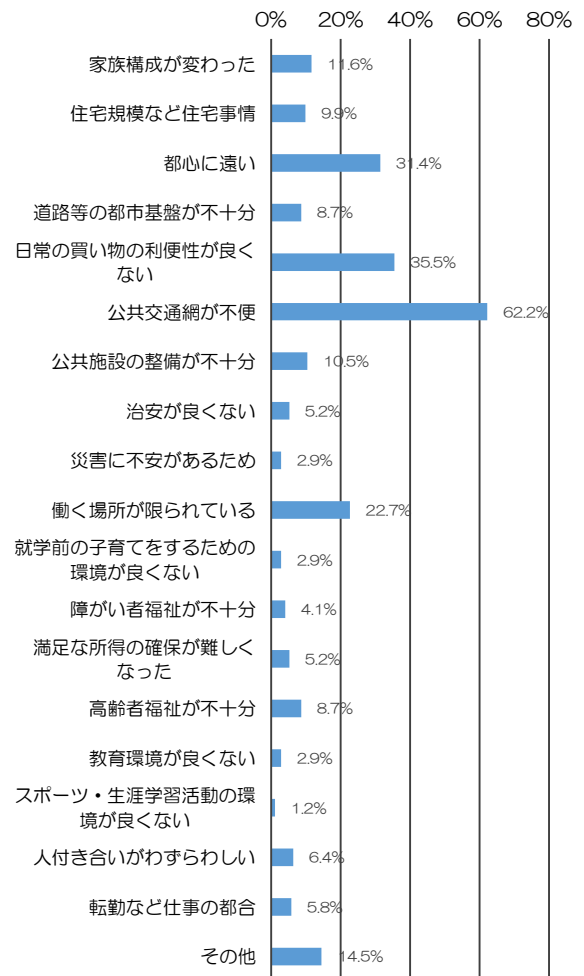


問 28 問 27 で「3. いずれは転出するつもりである」あるいは「4. すぐに転出したい」とお答えになった方におうかがいします。松伏町から転出したい理由はなんですか。(3つまでに〇)

転出したい理由について、「公共交通網が不便」と回答している人が62.2%と最も多く、半数を超えており、次いで「日常の買い物の利便性が良くない」と回答している人が35.5%となっている。

項目	回答数	回答率
家族構成が変わった	20	11.6%
住宅規模など住宅事情	17	9.9%
都心に遠い	54	31.4%
道路等の都市基盤が不十分	15	8.7%
日常の買い物の利便性が良くない	61	35.5%
公共交通網が不便	107	62.2%
公共施設の整備が不十分	18	10.5%
治安が良くない	9	5.2%
災害に不安があるため	5	2.9%
働く場所が限られている	39	22.7%
就学前の子育てをするための環境が良くない	5	2.9%
障がい者福祉が不十分	7	4.1%
満足な所得の確保が難しくなった	9	5.2%
高齢者福祉が不十分	15	8.7%
教育環境が良くない	5	2.9%
スポーツ・生涯学習活動の環境が良くない	2	1.2%
人付き合いがわずらわしい	11	6.4%
転勤など仕事の都合	10	5.8%
その他	25	14.5%
回答者数	153	—

未回答 19 件を除く

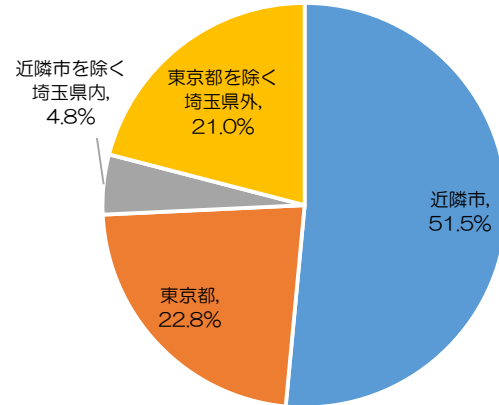


問 29 問 27で「3. いずれは転出するつもりである」あるいは「4. すぐに転出したい」とお答えになった方におうかがいします。松伏町からどこへ転出したいですか。  
(1つだけに〇)

転出希望先について、「近隣市」と回答している人が51.5%と最も多く、次いで「東京都」と回答している人が22.8%となっている。

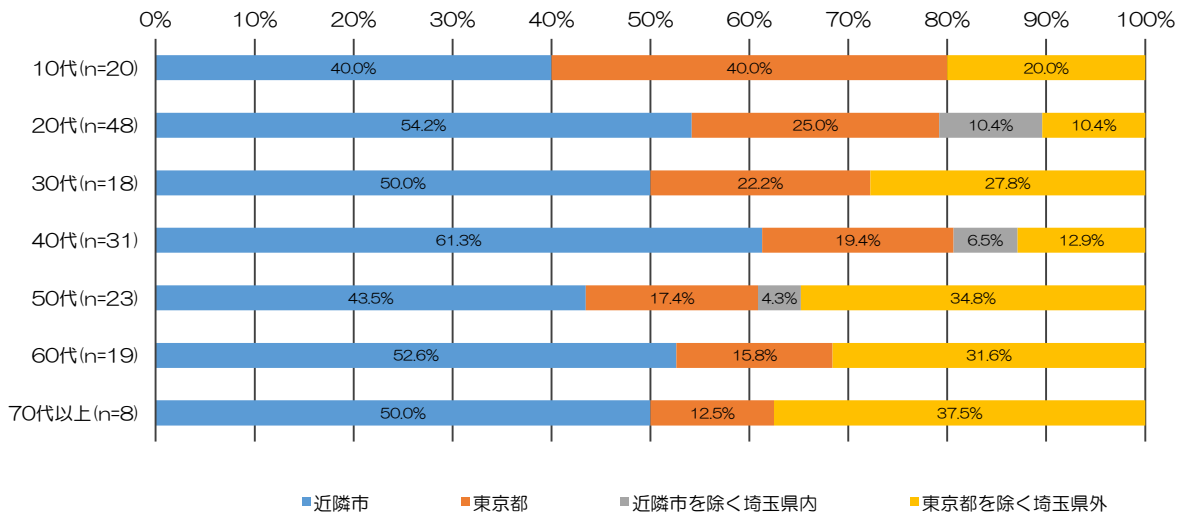
項目	回答数	構成比
近隣市	86	51.5%
東京都	38	22.8%
近隣市を除く埼玉県内	8	4.8%
東京都を除く埼玉県外	35	21.0%
合計	167	100.0%

未回答5件を除く



**【クロス集計】 問29 転出先× 問3 年代**

年代別に見ると、どの年代も「近隣市」と回答している人が最も多く、10代では同じ割合で「東京都」と回答している人が多くなっている。また20代～40代でも「近隣市」に続き、「東京都」と回答している人が多く、50代以上になると「東京都を除く埼玉県外」と回答している人が多くなっている。



**【近隣市を除く埼玉県内】**

さいたま市
さいたま市（大宮）
川口市
高齢者福祉が十分なところ！！

**【東京都を除く埼玉県外】**

岩槻区
海や山の近くの町
千葉県 [同回答他 4 件]
青森県
横浜市
静岡県
特にない
海外
神奈川県

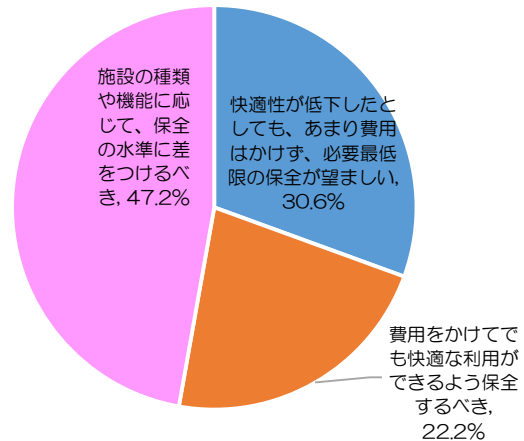
## ○将来にわたる公共施設のあり方について

問 30 公共施設を維持・保全していくためには、町の税金がかかっていますが、今後、町の公共施設の維持・保全にかかる費用について、あなたの考えに最も近いものを選びください。（1つだけに○）

公共施設の維持・保全について、「施設の種類や機能に応じて、保全の水準に差をつけるべき」と回答している人が47.2%と最も多くなっており、次いで「快適性が低下したとしても、あまり費用はかけず、必要最低限の保全が望ましい」と回答している人が30.6%となっている。

項目	回答数	構成比
快適性が低下したとしても、あまり費用はかけず、必要最低限の保全が望ましい	169	30.6%
費用をかけてでも快適な利用ができるよう保全するべき	123	22.2%
施設の種類や機能に応じて、保全の水準に差をつけるべき	261	47.2%
合計	553	100.0%

未回答 18 件を除く

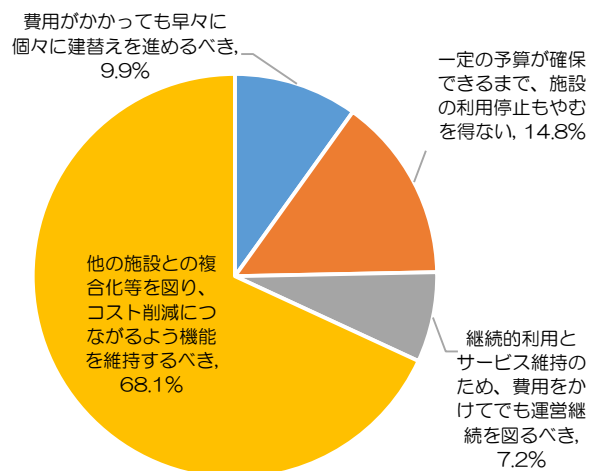


問 31 老朽化が進んでいる施設や利用率が低い施設について、どんな対策が必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを選びください。（1つだけに○）

老朽化、利用率の低い施設の対策について、「他の施設との複合化等を図り、コスト削減につながるよう機能を維持するべき」と回答している人が68.1%と最も多く、半数を超えている。

項目	回答数	構成比
費用がかかっても早々に個々に建替えを進めるべき	55	9.9%
一定の予算が確保できるまで、施設の利用停止もやむを得ない	82	14.8%
継続的利用とサービス維持のため、費用をかけてでも運営継続を図るべき	40	7.2%
他の施設との複合化等を図り、コスト削減につながるよう機能を維持するべき	378	68.1%
合計	555	100.0%

未回答 16 件を除く

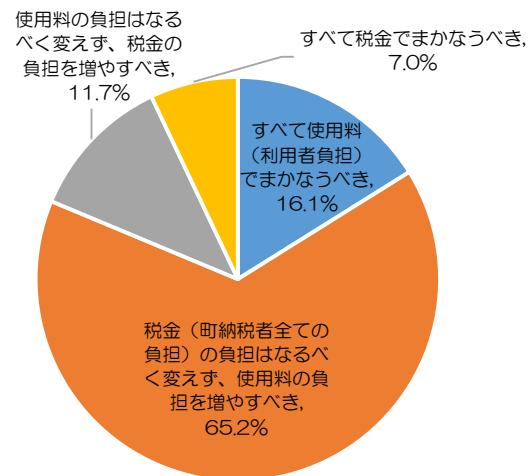


問 32 人口減少は税収減にもつながり、将来にわたり施設を維持していくには、無料施設の有料化や、維持費用を使用料に上乗せすることなども考えられますが、その時の使用料と税金の負担割合についてあなたの考えに最も近いものをお選びください。  
(1つだけに○)

施設維持のための使用料と税金負担の割合について、「税金（町納税者全ての負担）の負担はなるべく変えず、使用料の負担を増やすべき」と回答している人が65.2%と最も多く、半数を超えている。

項目	回答数	構成比
すべて使用料（利用者負担）でまかなうべき	87	16.1%
税金（町納税者全ての負担）の負担はなるべく変えず、使用料の負担を増やすべき	352	65.2%
使用料の負担はなるべく変えず、税金の負担を増やすべき	63	11.7%
すべて税金でまかなうべき	38	7.0%
合計	540	100.0%

未回答 31 件を除く

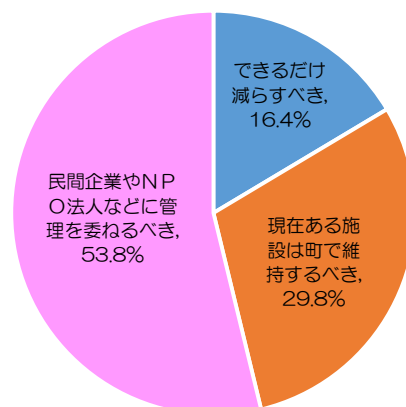


問 33 今ある施設の維持が困難となった場合、公共施設についてあなたの考えに最も近いものをお選びください。  
(1つだけに○)

維持が困難になった公共施設に対する考えについて、「民間企業やNPO法人などに管理を委ねるべき」と回答している人が53.8%と最も多く、次いで「現在ある施設は町で維持するべき」と回答している人が29.8%となっている。

項目	回答数	構成比
できるだけ減らすべき	91	16.4%
現在ある施設は町で維持するべき	165	29.8%
民間企業やNPO法人などに管理を委ねるべき	298	53.8%
合計	554	100.0%

未回答 17 件を除く



問 34 問 33 で「3. 民間企業やNPO法人などに管理を委ねるべき」とお答えの方  
 におうかがいします。民間に管理を委ねたほうが効率が良いと思う施設（分野）  
 は、つぎのうちどれだと思いますか（2つまでに〇）

民間に管理を委ねたほうが良いと思う施設は、「スポーツ施設」が53.7%と最も多く、次いで「文化施設」が40.3%、「子育て支援施設」が34.9%となっている。

項目	回答数	回答率
社会教育施設	40	13.4%
文化施設	120	40.3%
子育て支援施設	104	34.9%
保健・福祉施設	53	17.8%
スポーツ施設	160	53.7%
集会所	26	8.7%
公園	34	11.4%
その他	4	1.3%
回答者数	280	—

未回答 18 件を除く

